

高等学校における文化部活動の今後の在り方について

The Future Status of Cultural Activities in High Schools

野崎 耕一
Kouichi NOZAKI

(平成20年10月 8日受理)

要旨

平成18年12月22日、約60年ぶりに改正された教育基本法が公布施行された。それを受け翌19年6月、学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、教育職員免許法・教育公務員特例法、いわゆる教育3法が改正された。日本の教育は戦後60年を経て大きく見直されることになった。

昭和22年の小学校入学以来、戦後教育とともに歩んできた私が大きな影響を受け、関わってきたのが部活動（クラブ活動）であった。小・中・高・大と在学中は部活動に参加し、高校の教員になってからも部活動の顧問として部員と汗を流し感動を分かち合ってきた。私にとって部活動は特別な存在である。平成15年3月に「静岡産業大学国際情報学部研究紀要第5号」へ寄稿した「必修クラブ活動の廃止と今後の部活動の在り方について」は、部活動への私の思いを始めたものである。

昭和22年3月告示の小学校学習指導要領の「自由研究」にクラブ活動が位置付けられ、クラブ活動が小学校から行われることになった。以後ほぼ10年毎に改訂された学習指導要領でも、クラブ活動は教育的意義があるとして特別活動の柱の一つに位置付けられ、生徒はほぼ全員がクラブ活動に参加してきた。

平成11年の学習指導要領の改訂で、昭和45年以来教育課程内に位置付けられていた中学・高校の必修クラブ活動が廃止され、放課後に活動する自由参加の部活動に切り替わった。この大きな転換により、平成12年以降部活動参加者は大幅に減少し部活動は衰退するだろうと予測した私は、調査・考察した結果を前述の紀要に発表した。予測したほどの大きな変化はなかったが、参加者が減少する傾向は見えた。

それから5年経過し、前回深く掘り下げなかつた文化部の変化を今回取り上げることにした。危惧した通り、文化部には大きな変化が起きていた。全体の部活動参加者は前回の調査と比べてやや減少していたが、文化部参加者は激減していた。平成12年の必修クラブ廃止時点での文化部比率が51.7%であったものが、同18年には42.8%と約9%の減であり、毎年1%以上減少していることが分かった。当然、文化部の活動自体も衰退していると考えられる。

この論文では、平成7年から18年までの静岡県内公立高校の文化部参加者数の変化とその背景を調査分析するとともに、部活動の意義を再確認し、高校文化の中心をなす文化部活動の衰退を食い止めるための方策を8項目にわたって提案することとした。

I 初めに

1 テーマ設定の理由

私は、静岡産業大学国際情報学部研究紀要第5号（平成15年2月28日）に「必修クラブ活動の廃止と今後の部活動の在り方について」を寄稿した。そこでは、静岡県内公立高校の運動部活動を中心に考察し、高校生活や高校文化に占める部活動の意義を論じるとともに、今後も活発に活動するためには思い切った条件整備が必要であると述べた。

私自身が長い高校教員生活の中で運動部（ハンドボール部）の顧問をしていた関係で、論考では運動部活動に力点が置かれ、文化部活動については考察が疎かになってしまったことは否めない。平成12年の必修クラブ活動の廃止から既に7年が経過した。この間の急激な少子化の進行とそれに伴う学級減等によって部員の減少や部の消滅という事態が起きているのではないかと危惧している。今回は、平成12年の必修クラブ活動の廃止を挟んで、静岡県内公立高校の前後12年間の在籍生徒数、部活動参加者数、文化部参加者数、教員数、文化部数等の推移を追いながら、文化部活動の現状を分析した上で今後の在り方について考察する。

2 考察に用いた資料

静岡県内の各高等学校では、年度始めに「学校要覧」（以下「要覧」）を作成する。内容は、沿革、教育目標、教育課程、教員組織、学級数、生徒数、進路状況等多岐にわたるが、その中に部活動の状況として部活動の種類と参加者数が掲載されている。この「要覧」は各学校から静岡県教育委員会に2部提出され、そのうち1部が静岡県立中央図書館に所蔵されている。今回は、「要覧」の「部活動の状況」欄から部活動参加者を抜き出し、平成7年から18年までの12年間の推移を追ってみることにした。「要覧」に記載されていない学校が数校あったが、それらについては直接聞き取り調査をした。

また、静岡県立中央図書館には、静岡県高等学校体育連盟（以下「高体連」）が刊行している「高校の体育」や静岡県高等学校文化連盟（以下「高文連」）刊行の「静岡県高文連年報」が所蔵されている。これらも資料として用いた。

さらに、静岡県高等学校長協会（以下「校長協会」）が平成17、18両年度にわたって調査研究した「部活動の振興及び教員の服務への対応について」も参考にした。

その他、文化部の活動を伝える静岡新聞、朝日新聞、教育新聞等も参考にした。

II 本論

1-1 クラブ活動の自由参加と全員参加

(1) クラブ活動の本来の意義と自由参加

昭和22年3月の「学習指導要領一般篇（試案）」で、クラブ活動は「児童が学年の区別を去って、同好のものが集まって、教師の指導とともに、上級生の指導もなされ、いっしょになって、その学習を進める組織、すなわち、クラブ組織をとって、この活動のために、自由研究の時間を使って行くことも望ましい」と説明されているのがクラブ活動の初出であり、これは小・中・高共通である。

同26年の改訂では「学年の区別をすべて特殊な興味を持つこどもたちが、クラブを組織し、自己の個性や特徴を伸ばしていくことは有益である。たとえば音楽クラブ、演劇クラブ、科学クラブ、絵画クラブ、書道クラブ、手芸クラブ、スポーツ・クラブなどをあげることができる。クラブに参加するこどもは何年ぐらいからが適当か、教師の指導はどのようにすべきかについては、よく研究する必要がある。」(小学校)、「前にあげた表(「高等学校の教科・科目・授業時間数および単位数表」)のなかには、単位の与えられない特別教育活動については示されていないが、これは決して単位外の活動を軽視したためではない。特別教育活動には単位は与えられないが、しかしそれは教科の学習では達せられない重要な目標をもっており、高等学校が、新しい教育に熱意をもっているかどうかは、この特別教育活動をどのように有効に実施しているかどうかによって、察することができるといえよう。教科の学習に重点をおき過ぎるあまり、特別教育活動が軽視されることがないように注意しなければならない。特別教育活動の時間としては1週あたり少なくとも、ホーム=ルーム1単位時間、生徒集会1単位時間、クラブ活動1単位時間をとることが望ましい。」(高等学校)と、具体的に説明されており、単位外の活動ではあるが重要な教育的意義を持つとしてクラブ活動の意義が明確に示されている。

ここで、個人的な説明を加えておく。私は、6・3制がスタートした昭和22年に小学校に入学し、同28年に中学校に入学、同31年に高等学校に入学した。小学校5年生の時、野球部入部、中学校3年間も野球部に所属した。高等学校では、1年生の時は新聞部、2、3年生ではハンドボール部(当時の正式名は送球部)に所属した。小中学校では顧問の教員がほとんど毎日指導に当たってくれたが、高等学校では生徒任せで最上級生が指導に当たった。新聞部の活動は基本的に週1回、発行時にはほぼ毎日活動した。ハンドボール部は毎日活動した。

当時は、アメリカの教育制度を導入した新教育がスタートしたばかりの頃で、高校では生徒の自主や自治に任せられることが多く、生徒会活動やホームルーム活動で生徒が活躍する場面が多かった。クラブ活動は上下関係が厳しく、下級生は上級生に逆らえなかった。

その後、昭和35年の改訂で、クラブ活動は特別教育活動の柱の1つとして位置付けられ、「目標」が「(1)健全な趣味や豊かな教養を養い、個性の伸長を図る。(2)心身の健康を助長し、余暇を活用する態度を養う。(3)自主性を育てるとともに、集団生活において協力していく態度を養う。」と明確に示され、「内容」も「クラブは、学年の所属を離れて同好の生徒をもって組織するものとし、それぞれ次のいずれかに属する活動を行なう。(1)文化的な活動 (2)体育的な活動 (3)生産的な活動 (4)その他の活動」と整理された。そして、「指導計画作成および指導上の留意事項」の(7)で「クラブ活動に全校生徒が参加することは望ましいことであるが、生徒の自発的な参加によってそのような結果が生まれるように指導することがたいせつである。」と述べるとともに、(8)で「クラブ活動は教科の学習と深いつながりをもつ場合もあるが、そのような場合には、単に教科の補習を目指すようなものとならないように注意する必要がある。」とクラブ活動本来の趣旨を逸脱しないよう促している。

この時点では、文部省は「クラブ活動に全校生徒が参加することは望ましい」と積極的な参加を学校や生徒に呼び掛けてはいるものの強制ではない。

(2) クラブ活動の全員参加ークラブ活動の必修化

昭和45年の学習指導要領の改訂でクラブ活動の性格が変わることになる。そのあたりを簡単に振り返ってみると次のようになる。

前述したように、昭和35年の改訂でクラブ活動が特別教育活動の柱の1つとして位置付けられるとともに「全員参加が望ましい」とされたが、活動そのものは、放課後に行われた。

45年の改訂で、特別教育活動は各教科以外の教育活動と名称変更され、ホームルーム、生徒会活動、クラブ活動、学校行事の4本の柱が確立された。クラブ活動については「学年やホームルームの所属を離れて共通の興味や関心をもつ生徒をもって組織することをたてまえとし、次のいずれかに属する活動をする」とし、「(1)文化的な活動 (2)体育的な活動 (3)生産的な活動」に「全生徒がいずれかのクラブに所属するものとする」とした。つまり、クラブ活動の全員参加であり、教育課程内に位置付けられた必修クラブが誕生したのである。

この改訂によって、教育課程内のクラブ活動と教育課程外の部活動が併存するという事が生じた。また、クラブ活動はこれまで単位外の活動であったが、各学年で1単位の修得が義務付けられ、毎週1時間、全員がクラブ活動に参加することになった。これにより、学校の対応は次の2つに分かれた。

①活動の1本立て

必修クラブと放課後の部活動が同一で、例えば必修クラブは茶道部、部活動も茶道部、必修クラブは野球部、部活動も野球部という活動の方式である。

②活動の2本立て

必修クラブと放課後の部活動が異なるもので、例えば必修クラブは茶道部、部活動は野球部、必修クラブは野球部、部活動は茶道部という方式である。

どちらの方式にしても、クラブ活動の意義が再認識され義務付けられた意味は大きい。ただ、大学紛争、高校紛争の嵐が吹き荒れた当時の社会情勢を考えると、クラブ活動の必修は別の意味を持っていたとも考えられるが、ここでは触れない。

(3) 学校週5日制とゆとり教育ー必修クラブ活動から部活動代替へ

昭和45年の改訂以来、クラブ活動必修化のもと、生徒は少なくとも週1回は必ずクラブ活動に参加してきた。しかし、ゆとり教育が言われ、学校週5日制の機運が高まるにつれてクラブ活動の必修の見直しが議論されるようになった。

平成元年の改訂で「部活動代替」という考え方方が登場した。放課後の部活動でクラブ活動を履修したものとみなすというもので、例えば必修クラブが野球部、部活動も野球部の場合、週1回の必修クラブ活動の時間に欠席しても放課後の部活動をしっかり行ていれば必修クラブ活動に参加していたものとみなし、単位修得を認めるというものである。2本立てを実施していた学校では実施は難しかったと思われる。これは、次の改訂の布石であった。

平成11年の改訂で必修クラブ活動は翌12年度から廃止されることになったが、教育課程外の部活動は残ることになった。

高等学校における文化部活動の今後の在り方について

1－2 必修クラブ活動廃止後の文化部の状況

(1) 必修クラブ活動の廃止と部活動の位置付け

文部科学省は、平成11年3月告示の「高等学校学習指導要領」で、教育内容の厳選や総合的学習の時間の導入とともに必修クラブ活動の廃止を打ち出し、平成12年度から実施することになった。平成10年7月の教育課程審議会答申で示された「『クラブ活動』は、放課後等の部活動や学校外活動との関連、今回創設される『総合的な学習の時間』において生徒の興味・関心を生かした主体的な学習活動が行われることなどを考慮し、部活動が一層適切に行われるよう配慮しつつ、廃止することとする」を受けて対応したものである。部活動を「生徒の興味・関心を生かした主体的な活動」として位置付け、学校の管理下において「一層適切に行われる」ことを求めたものである。しかし、部活動の意義を認めながらもその実施について何ら具体的な手立てを示さず、各学校の対応に任せた文部科学省の態度は批判の謗りを免れない。

(2) 必修クラブ活動廃止への対応

告示から実施まで1年しかない中で、校長協会は静岡県教育委員会と緊密な連携をとりながら静岡県内の公立高等学校が適切に対応できるよう具体案をとりまとめた。結論を言えば、全校生徒が参加していた必修クラブ活動と同じように、校長の判断で全校生徒が部活動に参加できるようにした。これによって、平成12年度からの必修クラブ活動廃止は大きな混乱もなく行われることになった。

(3) 必修クラブ活動廃止前と廃止後の部員数の変化

しかし、30年間続いた必修クラブ活動を廃止することによる影響は当然考えられる。ここから、本研究の中心テーマになるが、まず、どんな影響が出たかを資料を用いて考察する。

部活動の部員数の推移については、「要覧」に記載されている「部活動の状況」欄から部員数を抜き出せばその変化を見ることができる。平成7年度から必修クラブ活動廃止の12年度を挟んで18年度までの12年間の推移である。なお、数校の学校はある年度だけ欠落しているということもあったが、その学校へは直接出向き、校長から聞き取り調査をした。唯一の分校である県立下田南高校南伊豆分校と全日制に併設された定時制の課程については調査対象から外した。

なお、県立静岡中央高校は単位制の定時制・通信制の高校、県立浜松城南高校は3部制の定時制高校であるが、規模が全日制と変わらないほど大きく、部活動が活発であることから、両校の定時制生徒の活動状況を統計に加えた。このうち、県立浜松城南高校は平成18年に県立農業経営高校と統合されて、県立浜松大平台高校となった。

この調査で判明した年度毎の公立高等学校（平成7年には単独の定時制2校を含む県立高校99校と市立高校6校の計105校だったものが、上記県立2校が統合されて現在は104校である）の全日制生徒（一部定時制を含む）の在籍者数、部活動参加者数、運動部員数、文化部員数、文化部員の割合を整理すると以下のようになる。

①在籍者数と部活動参加者数の推移

平成7年から18年までの公立高校の在籍者数、部活動参加者数、参加率をまとめると表1のようになる。前述した通り、平成11年まではクラブ活動は必修であり、本来ならば在籍者数と参加者数とが一致するべきだが、1%程度の生徒が何らかの理由（例えば休学中、留学中等）で参加していなかったことが分かる。

この表で分かるのは、

- ア この12年間で生徒は21,402人減少し、減少率は23.1%であること
- イ 同じく12年間で部活動参加者数は23,953人減少し、減少率は26.2%であること
- ウ 特に、新学習指導要領告示の翌年度（平成12年度）の必修クラブ活動の廃止後は参加率が急減したこと
- エ しかし、15年度以降は参加率が少しずつではあるが上昇し始めたこと等である。これらの分析は後に譲ることとする。

②文化部の参加率の推移

同様に、文化部だけにしばって参加率の推移を見ると表2のようになる。参考までに運動部員数も載せた。

この表で分かるのは、

- ア 表1で見た通り、この12年間の部活動参加者数は23,953人減少し、減少率は26.2%であること
- イ 運動部員の減少数は7,123人、減少率は15.6%であること
- ウ 文化部員の減少数は16,830人、減少率は36.8%であること
- エ 新学習指導要領告示後の平成12年度から文化部員の減少が始まり、以後加速度的に減少していること
- オ 平成13年度以降、それまで均衡を保ってきた運動部員と文化部員の比率が崩れ、このままでは文化部員が40%を切ることが予測されること等である。

表1

年	在籍者数	参加者数	参加率
7	92,474	91,548	99.0
8	90,703	89,535	98.7
9	87,550	87,099	99.5
10	86,629	85,078	98.2
11	86,670	85,013	98.1
12	86,061	82,136	95.4
13	84,520	79,444	94.0
14	81,666	76,558	93.7
15	79,145	74,355	93.9
16	76,742	72,152	94.0
17	74,307	70,341	94.7
18	71,072	67,595	95.1

表2

年	参加者数	運動部員数	文化部員数	文化部比率
7	91,548	45,782	45,766	50.0
8	89,535	44,104	45,431	50.7
9	87,099	42,091	45,008	51.7
10	85,078	40,553	44,525	52.3
11	85,013	40,145	44,868	52.8
12	82,136	39,706	42,430	51.7
13	79,444	39,798	39,646	49.9
14	76,558	39,671	36,887	48.2
15	74,355	39,624	34,731	46.7
16	72,152	39,822	32,330	44.8
17	70,341	39,650	30,691	43.6
18	67,595	38,659	28,936	42.8

2-1 文化部活動の衰退

(1) 部活動一部不参加校（自由参加）の現状

昭和45年から平成11年までの30年間は、必修クラブ活動は全員が参加することになっていたので、部活動（クラブ活動）参加率は100%であるはずだが、調査した平成7年から11年までの間に静岡県内の公立高校7校（静岡工業、焼津中央、島田工業、金谷、吉田、春野、静岡中央）では部員数と在籍者数とが一致せず部員数が少なかった。詳しい理由は分からぬが、一つは前述した通りこれらの学校には休学者、留学生が比較的多かったか、若しくは活動が2本立てで行われていて、今回取り上げている放課後の部活動には参加せず、必修クラブ活動にのみ参加している生徒がいてカウントされていなかったからではないかと思われる。

必修クラブ活動が廃止された平成12年には上記7校に加え17校（田方農業、修善寺工業、三島北、沼津工業、大井川、榛原、掛川西、掛川工業、池新田、横須賀、周智、袋井、浜松南、浜松湖南、浜松江之島、湖西、浜松城南）が一部不参加校となり、13年に4校（伊東商業、長泉、大仁、三島南）、14年に2校（藤枝北、沼津市立）、15年に1校（伊東）、16年に12校（伊東城ヶ崎、裾野、沼津西、沼津城北、静岡城北、静岡西、静岡南、藤枝東、藤枝西、島田、相良、吉原商業）、17年に2校（御殿場、庵原）、18年に1校（清水工業）と計46校となり、公立高校の44%が一部不参加としていることが分かる。なお、春野、沼津工業、伊東商業、大仁、伊東、裾野の6校は18年現在再び全員が参加している。したがって、現在は104校中39校、37%が一部不参加である。

上記で分かる通り、一部不参加校にある傾向が出ている。一点目は必修クラブ活動が廃止された平成12年から急増していることである。部活動本来の趣旨に立ち返って参加を自由にすべきであると判断した学校が、1、2年生は全員参加・3年生は自由参加、1年生は全員参加・2、3年生は自由参加、全学年自由参加等規制を緩めたためではないかと思われる。二点目は工業高校が多い（9校中5校）ことである。実習が多くて部活動に全員が参加するのは難しいという特殊事情がからんでいるのではないかと思われる。三点目は特定の地域に集中していること（11年以前の志太・榛原地区、12年の三島・田方地区、小笠・周智地区、浜松地区、16年の沼津・駿東地区、静岡地区、志太・榛原地区等）である。同一地区が同歩調で実施するという傾向が見られる。

(2) 運動部員と文化部員

①運動部参加率と文化部参加率の推移

表2で見た通り、運動部への参加率は、平成10、11年度に47%台だったものが、新学習指導要領が告示された翌年の12年度からは48%台となった。13年度からは50%台に上がり、18年度には57.2%と過去最高の参加率となった。

文化部参加率は運動部参加率と対比させてみれば明らかのように、運動部参加率が増加するのに反比例して減少している。平成12年度までは50%台を保っていたものが、13年度からは50%を切り、それ以後も減少が続いて18年度には42.8%にまで落ち込んだ。この傾向は今後も続き40%を切るのではないかと思われる。

②文化部参加率の高い高校

文化部活動参加率の高い学校を拾つてみると表3の通りである。

1位の静岡城北高校は県内で最も歴史のある旧制高女であったが、平成17年に男女共学となった。しかし、依然として女子の占める割合は高い。

2位の気賀高校もかつては高女で現在も女子比率の高い小規模校、3位の裾野高校は総合学科高校である。4位の浜松市立高校、5位の大仁高校も旧制の高女で最近まで女子のみの学校であった。現在は共学校であるが、依然として女子の比率が高い。ただ、かつて女子のみの学校であった三島北、沼津西、吉原、富士宮東、清水西、掛川東、磐田北高校では、最高80%近い文化部比率が、共学化以降30~40%台に落ちているのが特徴的である。男子は運動部、女子は文化部という傾向は現在も根強いとみてよい。

(3) 文化部の減少

平成12年の必修クラブ活動廃止以降、部活動参加者が少しずつ減少してきたことはこれまで述べてきたが、文化部活動に所属する部員が急激に減少していることに驚かされる。このことは文化部活動の衰退と深く関わってくる。

今回の研究では、これまで部員数の変化に主眼を置き部の数については触れて来なかった。しかし、高文連発行の「高文連年鑑」には文化部数、文化部員数の推移が掲載されているので、これを表4にまとめた。この年鑑には平成12年以後の数字しか出ていなかった。高文連には私立高校43校が加盟しているが、平成17年度から市立高校6校とともに調査対象となった。なお、部活数は延べ数である。

表4

年	在籍者数	部活数	部員数	加入率	備考
12	82,805	1,461	37,189	44.9	県立高校
13	77,620	1,444	34,490	44.4	"
14	75,062	1,355	32,332	43.1	"
15	72,808	1,320	30,068	41.3	"
16	70,172	1,428	29,182	41.6	"
17	110,400	2,046	42,611	38.6	全加入校
18	106,293	2,000	40,860	38.4	"

上記の表の在籍者数、部員数は、「要覧」で調べた表1、2の数字とは多少異なるが、減少傾向は共通している。

平成17年から在籍者数、部活数、部員数が急激に増えているのは、市立高校と私立高校を加えたからである。加入率が下がっているのは、進学を重視する私立高校の中には部活動への参加を認めない学校があり、それも一因ではないかと考えられる。

表3

	校名	H16	H17	H18
1	静岡城北	68.8%	60.7%	60.4%
2	気賀	62.2	62.1	58.4
3	裾野	55.5	63.4	63.4
4	浜松市立	63.7	59.9	55.2
5	大仁	57.6	59.7	58.8

平成12年から16年までの5年間で、在籍者数は12,633人の減、15.3%の減、部活数は33減、2.3%の減、部員数は8,007人の減、21.5%の減となり、ここでも部員数の減少率は在籍者の減少率を大幅に上回っていることが分かる。部活数は微減に留まっているが、部員が減少したからすぐ廃部という訳には行かない学校の事情があるものと考えられる。

2－2 文化部の活躍

文化部の部活数や部員数が減少する中で、それでも在籍生徒の約4割は文化部に所属し、活動している。高文連が把握している文化部の数は96部（平成18年度調べ。休部中の部を含む）あり、運動部の陰に隠れてはいるが学校内外における文化部の活動や活躍は見逃せない。以下、その活動の一部を紹介する。

(1) 学校祭

学校祭は学校行事の最大のイベントであり、学校文化の花形である。生徒会活動や文化部活動が活発な学校では1年前から実行委員会が組織されて、学校祭のテーマ、内容、規模、予算等を煮詰めていき、6月初旬若しくは9月下旬等に実施される。中心は文化部の発表であるが、運動部員も加えた全員参加の学校祭にするためにホームルーム展（クラス展）を重視し、文化部展との二本柱とする高校が増えている。

文化部の発表では、演劇部、管弦楽部、吹奏楽部、ギター・マンドリン部、マーチングバンド部、合唱部等によるステージ発表と新聞部、郷土研究部、物理部、化学部、生物部、地学部、書道部、美術部、華道部、茶道部、囲碁・将棋部等の展示や実演が中心である。ステージ発表は都市部の高校では文化センター、その他の多くの高校では体育館等で行われ、生徒全員が参加して盛り上がる。展示や実演は文化部の1年間の活動の成果を発表する絶好の機会と言えるが、よい展示があるのに地味なせいか観客が少ない。客寄せのために、活動とは関係のない金魚すくいの店を構えたり、綿菓子を売ったりする文化部もある。

ホームルーム展をホームルーム活動の一環と位置付けて力を入れている学校がある。お化け屋敷で人気を取るクラス、趣向を凝らした展示で文化部を凌ぐ内容のクラス、展示スペースががらがらのクラスと様々だが、運動部員のエネルギーがホームルーム展を引っ張る。所属する文化部の展示を離れてホームルーム展に加わろうとする文化部員を巡るトラブルも必ず起きる。6月はインターハイの県予選と重なることもあり、学校祭に参加したいという気持ちとインターハイで頑張りたいという気持ちとの間で揺れる運動部員が多い。

いずれにしても、学校祭を楽しみにしている保護者、他校生、中学生、卒業生、一般市民は多く、それに応えようと夜を徹して準備するなど生徒は必死で頑張り、学校は燃える。

(2) 定期発表会

多くの部員がいて熱心な指導者（顧問）がいる文化部は、在校生や一般市民を対象に定期発表会を開いて、日頃の活動の成果を発表するなど活発に活動している。例えば、吹奏楽部、管弦楽部、ギター・マンドリン部、マーチングバンド部、合唱部、演劇部等である。会場使用料を捻出するために有料としている部もある。書道部、美術部なども校外で定期的に展示発表をする。

定期発表会ではないが、病院や施設を定期的に慰問して演奏する部、病院の待合室に自

分たちの作品を月代わりに展示する美術部、地区の独居老人宅を定期的に訪れて話し相手を務めるボランティア部等、積極的に外部と関わろうとする文化部もある。

(3) 日本学生科学賞、鈴木梅太郎賞、山崎賞

理科系の文化部が活動の目標にしている賞がある。

日本学生科学賞^(注1)は全国の中高生があこがれる賞で、毎年3,000点以上の応募があるという。地方審査を経て中央審査で厳しい審査を受ける。2006年度の第50回コンテストでは静岡県立磐田南高校地学部が優秀賞を受賞している。それ以前には県立浜松北高校地学部が連続受賞するなど静岡県のレベルは高い。

鈴木梅太郎賞^(注2)は、次代を担う理科好きな児童生徒を育成するための権威ある賞で、毎年静岡県内の多くの児童生徒が、個人、グループ、部単位等で応募し表彰される。

山崎賞^(注3)も、静岡県内の児童生徒の理科研究を奨励している。これにも多数の応募があり、表彰式では特に優れた研究をした個人や団体が成果を発表する。

これらの賞を励みにして、理科好きな多くの児童生徒が熱心な指導者のもと、個人あるいは団体（多くは部活動）で研究をし、互いに切磋琢磨している。意欲的な部員を抱える高校の文化部の中には、顧問の指導に加えて地域の専門家、大学の教員等の指導を受けて大学生顔負けの本格的な研究に挑戦するグループもあり、そのレベルは高い。

(4) 県高等学校総合文化祭

全ての高校が加盟する高文連が各都道府県に設置されている。静岡県は昭和63年に発足した。

運動部に全国大会の予選を兼ねた県高等学校総合体育大会があるように、文化部には高文連が主催する県高等学校総合文化祭がある。本来は全ての文化部が参加して互いに研究の成果や技術の高さを競うべきだが、専門部として登録されている24専門部（一部休部中）のみが参加する。平成20年度は18種目（後掲）であった。各学校の文化部は全国大会出場の切符を獲得するためにしのぎを削る。

(5) 全国高等学校総合文化祭

平成12年8月に静岡県を会場にして第24回全国高等学校総合文化祭が開催された。全国から2,657校、約55,000人の教員・生徒が参加した。文化部にとっては、運動部のインテラクティブ、野球部の甲子園に相当する晴れの舞台である。この際参加した文化部の数は18（演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチングバンド・パントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かるた、新聞、文芸）で、その他協賛部門として5部（郷土研究、無線、自然研究、養護教育、定時制・通信制）が参加した^(注4)。

平成20年8月6日～10日、第32回全国高校総合文化祭が群馬県前橋市を主会場に群馬県

注1 読売新聞社が1957年に創設した、中高生のための科学自由研究コンテスト

注2 ビタミンB1を発見した静岡県出身の科学者、鈴木梅太郎の功績を顕彰して創設された賞

注3 静岡県出身の企業家、山崎貞一氏が私財を投じて創設した賞

注4 『第24回全国高等学校総合文化祭 2000高文祭静岡大会』 平成13年2月15日発行

内各地で開催された。静岡県からも18種目約500人が参加した。全国2万人以上の高校生が参加した大イベントである^(注5、6)。同時期に運動部員が参加して開催される全国高校総合体育大会（インターハイ）、野球部員が夢見る全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園）の陰に隠れてマスコミに登場する機会は少ないが、上記2大会に劣らず文化部に所属する高校生同士が激しい火花を散らす。

因みに、本年度静岡県から参加した種目の中で、囲碁男子個人で日大三島高が文部科学大臣賞、将棋女子団体戦で韭山高、日本音楽で三島北高、郷土芸能で修善寺工高がそれぞれ成績優秀で文化庁長官賞を受賞した。

2-3 文化部活動の課題

高校生は学校で集団生活を通して様々なことを学ぶ。知識・技能・思考・理解等を習得する学習活動とは別に、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事を柱とする特別活動において、自主・自立・協力・社会性等を身につけていく。

ところが、私がこれまで論じてきた部活動は教育課程のどこにもない。多くの高校生は趣味を深め個性を伸ばすために部活動に参加し部活動仲間と共に過ごしたいと考えている。社会人にとって、高校生活の一番の思い出が部活動にあることは同窓会等でよく語られるところである。それほどの意義を持つ活動であるにも関わらず、学習指導要領上は教育課程外に置かれているところに問題がある。このことについては後で触ることにする。

ここでは、これまでの調査や分析から浮かび上がってきた文化部活動の課題について、次の5点に絞って述べる。

(1) 文化部活動の衰退

少子化に伴う生徒数の減少によって部活動が大きな影響を受けていることは、1-2で詳しく述べた。また、平成11年3月告示の高等学校学習指導要領の改訂で、必修クラブ活動が廃止になったことによる文化部への影響についても2-1で触れた。

これらの影響の大きさを高文連の資料から分析すると以下の通りである。

高文連の調査では、平成12年から16年にかけての文化部活動数（延べ数）は2.3%の減少に過ぎないのに、文化部員の参加率は21.5%（「要覧」調査では23.8%）の減少であることから、文化部によっては数人の部員しかいない、若しくは部員ゼロで休部状態にある部があるということも考えられる。因みに、高文連調査で1文化部の参加人数を単純に計算すると、平成12年は25.5人（部活数1,461、部員数37,189人）だったものが、同16年には20.4人（部活数1,421、部員数29,182人）と減少し、市立・私立を含めた同18年も20.4人（部活数2,000、部員数40,860人）と横ばいである。活動が活発な部、例えば毎日運動部並みの活動をしている吹奏楽部、器楽・管弦楽部、マーチングバンド部、演劇部等には多くの部員が所属する反面、週1、2回しか活動しない不活発な部、魅力の薄れた部には殆んど部員がいないということも考えられる。

したがって、部員数が減れば当然のことながら文化部は活動が停滞し衰退していく。

注5 静岡新聞 平成20年7月21日、8月7、16、18日

注6 朝日新聞 平成20年5月18日、7月11、26日、8月8日

(2) 学級減と指導者（顧問）の不足

少子化は学級減を招き、学校の統廃合を進め、教員の定数減につながる。教員の定数減は部活動の維持に影響する。つまり、部活動の顧問が不在という状況を作ってしまい、活動ができなくなってしまう事態も起きる。若しくは、1人の教員が複数の部活動の顧問を掛け持つことになり、専門的に指導することが不可能となることもある。

静岡県が平成18年に実施した「学校基本調査」を表5に整理して公立高校の生徒数、教員数の推移を調べてみたところ、平成7年から18年の間に、生徒は22,875人、23.7%の減、教員は、764人、12.2%の減である。生徒の減に比して教員の減は緩やかだが、学校数は1減のままでこれだけ大量の教員が学校からなくなる訳だから教育への影響は計り知れないものがある。

なお、これまでデータとして使ってきた学校数より1校多いのは下田南高校南伊豆分校を含んでいるからである。また、平成18年度の学校数が1減しているのは2校が統合したからである。

特に、少子化による生徒数の減少の著しい遠隔地や過疎地では、学校の存続そのものが危ぶまれている状況であり、部活動指導者の確保は極めて困難な状況にある。休部や廃部に追い込まれる学校もある。部活動を楽しみにしている高校生は多く、約95%の高校生が部活動に参加していることを考えれば、彼らの希望をかなえる方策を考える必要がある。

(3) 顧問の服務と勤務条件

部活動の顧問のほとんどは教員である。ここでは、教員の例を上げて説明する。公立高等学校の教員は、月曜日から金曜日までの5日間、1日8時間、1週40時間の勤務が条例で定められている。土、日曜は休日であり、勤務を要しない日である。私立高等学校の教員も公立とほとんど変わらない勤務と思われる。

教員の給料は上に述べた勤務時間による勤務に対する報酬であり、この報酬に住居手当、通勤手当等諸手当を加えたものが給与となる。

文部科学省が平成18年の10月から12月にかけて全国の小中高の教員を対象に実施した「教員勤務実態調査」^(注7)によれば、全日制課程の高校教員の勤務時間は8時間を越え、平均して1時間40分の超過勤務をしていることが判明した。小学校は1時間49分、中学校は2時間26分であり、中学校教員の勤務の厳しさが分かる。また、休日には高校が1時間15分、小学校が28分、中学校が1時間50分勤務していた。上の数字は全ての教員の平均であ

表5

年	公立学校数	生徒数(全定)	教員数(全定)
7	106	96,526	6,280
8	106	93,383	6,271
9	106	90,781	6,273
10	106	88,628	6,231
11	106	88,465	6,244
12	106	88,134	6,141
13	106	86,561	6,068
14	106	83,853	5,964
15	106	81,332	5,868
16	106	79,003	5,755
17	106	76,464	5,656
18	105	73,651	5,516

注7 「教員勤務実態調査」 平成19年5月23日 文部科学省

り、部活動の顧問、特に運動部の顧問は平日の勤務時間超過は勿論のこと、土曜、日曜もないというのが実状である。

静岡県教育委員会も平成19年度に同様の調査をし、「学校を取り巻く実態状況調査 報告書」^(注8)を出したが、教員の勤務の実態は文部科学省調査とほぼ同じであった。この調査で、高校の部活動の正顧問は休日には平均して5時間12分勤務していることが明らかになった。

文化部の顧問は運動部ほどではなく、熱心に活動する一部の文化部を除けば休日に指導することはほとんどないが、学校祭や発表会、展示会、他校との交流等を前にして部員とともに夜遅くまで活動する例は多い。とかく運動部の顧問の勤務の厳しさが話題になるが、文化部の顧問も程度の違いはあるものの、その服務と勤務条件の厳しさは運動部と変わらない。

(4) 学習指導要領上の位置付け

平成20年3月29日、小中学校の学習指導要領が告示された。約10年ぶりの改訂である。前回平成11年の改訂では「ゆとり」の中で「生きる力」を育むことが強調され、学校週5日制の定着、授業時間数の減、教育内容の厳選、総合的な学習の時間の導入、必修クラブ活動の廃止等が目玉であった。しかし、告示当初から児童生徒の学力低下を心配する世論に抗し切れず、文部科学省は土曜講習の実施を容認したり、学習指導要領は最低基準であるとしてこれまでの主張を一変させたりするなど、学習指導要領の実施に及び腰であった。

目玉であった「総合的な学習の時間」でさえも、各学校や教員の負担が年々重くなり形骸化していった。また、学力向上のためならどんなことでも許されるという極端な方向へ動き始め、例えば公立中学で業者に依頼して夜間補習をするところさえ現れた。

今回の改訂は、平成18年12月に公布施行された改正教育基本法を踏まえつつ、前回の「生きる力」を踏襲したものである。しかし、総合的な学習の時間を削減して教科の授業時間数を増やしたりしているから、結果的に学力低下批判に応えたものとなっている。

さて、私は、前回の論文で教育課程外に置かれてしまった部活動を教育課程内に組み込むべきだと提案した。具体的には、特別活動の内容であるホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に部活動を加えた4つの柱にすべきだというものであった。部活動が児童生徒の「生きる力」を養う場として最適であるにもかかわらず、教育課程上の位置付けがあいまいなままでは所期の目的が達せられないと思うからであった。

今回の中学校学習指導要領の改訂では、「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、地域や学校の実態、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行うようにすること。」(中学校学習指導要領 第1章 総則 第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項 2 (13))と説明しており、初めて「教育課程との関連」に言及した。つまり、「生きる力」を育むために部活動の持つ意味が極めて大きいと考えた文部科学省が、部活動を教育課程と関連

注8 「学校を取り巻く実態状況調査 報告書」 平成20年3月 財団法人 静岡総合研究機構

させたいと決断したものと思われる。ただ、どう関連させるのか具体策は述べられていないので、今後、各学校で検討し、工夫していかなければならない。

このことについては、間もなく告示される高等学校学習指導要領の中でも触れられるものと思われる。校長協会の提言が「部活動の教育課程への位置付け」^(注9)を強調しているのは時宜を得ている。

(5) 地域社会の持つ力

社会教育や生涯学習が言われる前から、日本の社会には独特的な教育システムがあった。それは、学校教育からは離れたところで日本の文化を支え、日本の教育を補完してきた地域の教育システムである。いわゆる、習い事、お稽古事と言われる書道塾、そろばん塾、ピアノ教室、バイオリン教室、オルガン教室、絵画教室、バレー教室、茶華道教室、裁縫教室等々がそれで、子供達が趣味を広げたり、特技を伸ばしたりするための受け皿になっていたものである。

少子高齢の現代社会では子供達は学習塾へ通い、大人達はカルチャーセンターでの習い事に精を出すという形に変わってしまったが、高校の文化部活動が衰退して行く中で、地域社会にあるこれらの教育システムを利活用できないものだろうか。

3 文化部活動の今後の在り方

これまで高等学校文化部活動の現状を分析し、多くの課題があることを指摘してきた。このまま手をこまねいていれば、文化部活動が衰退して行くのは明らかである。そこで、以下、文化部活動の今後の在り方について 8 項目の提案をしてみたい。

(1) 「生きる力」を育むための全員参加

これまで度々触れてきたように、高校の部活動は「自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら判断する」力、即ち、「生きる力」を育むのに最適なものである。部活動は生徒自身が趣味を広げ特技を伸ばすために仲間と協力し切磋琢磨するための場であり活動である。教科の学習とは違った意味で個性を伸長し夢を実現する場である。それは運動部も文化部も同じである。平成12年の必修クラブ活動廃止以後、部活動参加者が減少し、特に文化部員の減少が際立っていたことは既に述べた。原則自由参加としている現行参加形態をこのまま放置しておくと、部活動参加者がやがて90%を割り、文化部参加者も40%を割るような取り返しのつかない状況になるのではないかと心配している。本年度中に予定されている高等学校学習指導要領の改訂には間に合わないので、次回改訂までの間、各都道府県教育委員会や各学校の校長は部活動に全員が参加するよう、全ての高校生に参加を呼び掛けるべきである。

(2) 地域の文化活動への参加と総合型地域文化クラブ

地域と高校生との結び付きは比較的薄い。小中学生と違って地域を離れて高校に通学す

注9 「部活動の振興及び教員の服務への対応について」 平成18年12月25日 静岡県高等学校長協会部活動研究委員会

る生徒が増えるからだ。しかし、個人としてあるいは団体（部）として、地域の管弦楽団や演劇グループ等に高校生が参加して活動しているケースはある。あるいは、地域の文化や伝統の継承を目的に地域の祭典に参加したり、地域の運動会等のイベントに参加したりして地域の活性化に寄与している。このように、現在も将来も地域を支えていく若い力としての高校生の力は欠かせない。地域を活性化するために、様々な活動、特に文化的な活動に彼らを巻き込み、彼らに活躍の場を提供するのは地域の責任である。学校としても地域参加への高校生の活動を後押ししてやらなければならない。

小中高生の課外活動を家庭や地域のクラブに任せている欧米と違って、日本は学校が引き受けている分、裾野が広く層が厚いというプラスの面を持つ。これらの課外活動を欧米並みに家庭や地域に任せるべきだという考え方は戦後長く続いてきたが、日本の社会にはなかなか根付かない。平成7年に文部科学省の強力な後押しでスタートした総合型地域スポーツクラブ^(注10)は、社会体育の一つのモデルになるのではないかと注目されている。同じような考え方で、総合型地域文化クラブ（仮称）が創設できないものだろうか。また、各種の教室や塾等地域で文化的な活動をしている諸団体をネットワーク化することも可能ではないだろうか。しかし、これらが放課後や休日の小中高生の文化的活動の受け皿として整備され機能するまでは時間がかかると思われるので、それまでは学校が受け持たなければならない。総合型地域スポーツクラブも期待されたほどの広がりを見せていない現状では、地域文化クラブが創設され活動していくのにはかなりの時間を要すると思われる。

(3) 教育課程との関連の明確化

今回の中学校学習指導要領の改訂で、部活動を教育課程との関連を図ることが明記されたが、具体的なことまでは言及されていない。したがって各学校でどう具体化していくのかが今後の課題となるが、私は以下のように考える。

学習指導要領では、特別活動の3本柱は、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事であるが、そのどれもが部活動と深い関わりを持つ。例えば、部活動の予算編成は生徒会を中心となる。さらに部長会等部活動の運営についても生徒会が責任を持つ。運動部活動が対外試合に出場する際の壮行会も生徒会が主催する。場合によっては全校応援の指揮をするのも生徒会である。さらに、学校行事で「文化的行事」、例えば学校祭における合唱部や吹奏楽部等文化部活動の発表とか、「体育的行事」、例えば体育大会における部活対抗リレー、有力運動部の主将がリーダーを務める応援合戦など、学校行事と部活動とは深い関わりを持つ。文部科学省はこれらの活動を想定して「教育課程との関連」と言っているのだろうか。

私は、教育課程と連動させるならば、前にも述べた通り、本来は特別活動の柱に部活動も加えた4本柱とすべきであると考える。その上で、単位修得を義務付けたホームルーム活動とは異なり、生徒会活動や学校行事と同じ位置付けにして単位修得を義務付けないことにする。今回の改訂で、文部科学省は部活動についてこれまでになく踏み込んだ。部活動が明確に特別活動の柱の1つとして位置付けられるまでの間、各学校にあっては、校長

注10 「地域住民が自主的・主体的に運営するスポーツクラブで、多世代・多種目・多志向の特徴を持つ。平成20年7月1日現在、1,046市区町村で2,768クラブがある。」 文部科学省ホームページ

のリーダーシップにより各教科・科目、特別活動において部活動の教育的意義を生かした活動をしていくべきである。

(4) 指導者（顧問）の資質向上

活発な活動をしている部活動には優れた顧問がいる。運動部、文化部を問わない。大学や大学院で深く専門分野を極めた者が教員となり、部活動でその力を發揮するケース、教員はその分野では専門ではないが部員の熱心な活動に触発されて次第に力を付けて生徒の研究をリードするケース、教員自身の趣味が高じて顧問として部員にその雰囲気を味わわせるケース等様々だが、研究が好きでその後ろ姿を見せながら生徒を引っ張っていくタイプの顧問が望ましい。私がこれまで見聞した中には、例えば、東南海地震の研究、ナウマンゾウやワニの化石の発掘、絶滅危惧種のカワバタモロコの研究、カニの発生と成長のメカニズムの研究、コアジサシの営巣の研究、トンボの研究、彗星の観測、遣米使節の研究等々、優れた研究者が顧問となって卓越した研究活動を続けた多くの文化部があり、研究成果を上げるとともにその中から優秀な研究者が巣立っていった。

この裾野を広げていくためには、これら指導者がお互いに連携を取りながら自身の研究レベルを上げるとともに仲間を増やす努力をする必要がある。高文祭や発表会等の機会を生かして交流を深めていく。練習試合等で顧問同士が指導技術を高めている運動部顧問と同じように、文化部の顧問にも期待したい。

(5) 外部指導者の活用

生徒数の急減は学級減となり、教員も減となる。教員が減っていけば部活動の顧問が不足する。不足すれば休部か廃部になる。自身が希望する部活動に参加したい生徒は自分がやってみたい部を持つ学校に目が向き、そちらに流れていく。魅力に乏しい学校は存立自体が危ぶまれる状況も生まれる。問題の中心は遠隔地の小規模校になるが、都市部の大規模校にあっても生徒が希望する部がなく顧問が不足している状況はある。

顧問が不足する理由は様々である。生徒減、学級減によって教員が不足していることはこれまで述べてきた。家庭の事情で、放課後勤務時間外の指導や土・日の指導が困難な女性教員を比較的多く抱える学校では、生徒の要望に応えられる顧問を確保することは難しい。また、教員全てが自分の得意分野で部活動を指導できる訳ではないので、素人が指導することもある。それでも指導しているうちに生徒との人間関係や信頼関係が深まり立派な指導者となっていく例は多い。だから、教員の資質としての「教科の専門性」はもとより「生徒への深い愛」、「教育的情熱」等を持ち合わせている教員がどうしても学校には必要である。教員を採用する時点での大きな課題である。

絶対的に教員が不足している場合は地域の専門家に委嘱するとか教員志望の若い人材に担当してもらう等の方策を考えなければならない。地域には埋もれた人材がいるものである。予算措置が必要になるので、県教育委員会や学校は予算の獲得に全力を上げなければならない。静岡県教育委員会は、専門的な指導ができる教員がない運動部に指導者を派遣する「スポーツエキスパート活用事業」を導入して成果を上げている^(注1)。平成20年度

注11 「平成20年度 教育行政の基本方針と教育予算」 静岡県教育委員会

は72人を派遣した。更に、平成20年度からは文化部にも広げ、「文化の匠」派遣事業を始めた^(注12)。ねらいは文化系部活動のレベルアップであり、地域で将来の文化活動を担う人材の育成にある。20年度は地域で活躍する「文化の匠」を日本音楽、囲碁、将棋、百人一首、郷土芸能、演劇、文芸等の部を持つ12校へ30人程度を派遣するというもので、指導者不足に悩む文化部にとっては朗報である。静岡県教育委員会が文化部の重要性に気付き、この事業を展開しようとする英断に敬意を表する。

部活動を重視する東京都教育委員会は平成19年3月に「部活動ハンドブック」、本年4月に「外部指導者のための部活動指導の手引」を作成し、各学校に配布した。それは、東京都がスポーツ、文化、科学、芸術などの経験者や有資格者などの外部指導員制度を導入しているからであり、高校の運動部には約27%、文化部には約20%の学校に外部指導員が配置されている^(注13)。

(6) 勤務条件の改善、特に特殊勤務手当（部活動手当）の増額

教育公務員には、特別な場合を除いて校長が超過勤務を命ずることができない。月曜日から金曜日まで週40時間の勤務以外は、放課後遅くまで部活動の指導や特別活動の指導をやっても超過勤務手当は出ない。超過勤務を命ずることができないからである。

しかし、土曜、日曜に部活動の指導で出校する教員は多い。また、運動部は土曜、日曜に公式戦が開催されることが多い。更に、遠征試合を組むこともある。文化部も発表会、展示会等で同様である。

このような教員の指導（特殊業務）に対して、超過勤務手当ではなく特殊勤務手当が支給される。「静岡県教職員の特殊勤務手当に関する条例」及び「静岡県教職員の特殊勤務手当に関する規則」では次のように規定している。

- ①対外運動競技等で児童・生徒を引率して行う指導業務で泊を伴うもの又は週休日等若しくはこれに相当する日に行うものー1日につき2,000円、8時間に満たない場合は6分の4
- ②学校の管理下において行われる部活動における児童・生徒に対する指導業務で週休日等に行うものー1日につき2,000円、8時間未満6時間以上の場合は6分の5、6時間未満4時間程度までの場合は6分の4

整理すると、対外運動競技等で生徒を引率した場合は1日2,000円の手当がつき、土曜、日曜に部活動の指導をした場合は半日で1,300円、1日で2,000円となる。日常的に超過勤務をしている顧問の士気を高めるためにもこの倍額の手当を支給すべきである。

中央教育審議会は平成19年3月29日、「今後の教員給与の在り方について」答申をした。その中で「部活動指導業務に係る教員特殊業務手当（部活動手当）」について「勤務実態調査暫定集計の結果に見られるように、部活動の顧問を担当する教員の勤務時間は担当しない教員に比べて多くなっており、部活動を通じた教育指導を行う教員を処遇するため、部活動手当（現在は週休日等に4時間以上部活動に従事した場合に支給）の充実を検討することが必要である。」と手当の増額を提言した。これを受けた文部科学省は平成20年4

注12 静岡新聞 平成20年7月9日

注13 教育新聞 平成20年5月8日、7月7日

月に従来の手当額の1日1,200円を2,400円に増額することにし、更に、対外運動競技等引率指導業務については、1日1,700円を3,400円に引き上げることを各都道府県に通知した。

静岡県教育委員会は、部活動手当を含む教員の特殊勤務手当についてはこれまで国を上回る水準を維持してきた。その結果が上記の条例や規則で定められた手当の額である。今回の国の増額に対して、静岡県教育委員会も検討中と聞いているが、国が倍額を出すわけだから、国を上回る手当を支給すべきである。

なお、校長協会の提言書には「県の最低賃金（1時間あたり673円）を上回る手当への支給と週休日等の支給上限を5,000円、勤務日の時間外手当を1,000円支給」と思い切った提言があり、県教育委員会に実現を求めている。

(7) 連合（合同）部活動の勧め

生徒の減少によって単独で部活動を維持できなくなっている学校では、やむを得ずその部を休部か廃部にする。既に運動部では近隣の高校同士が合同練習をしたり、連合チームを組んで公式戦に出場するなど、生徒の希望ができるだけかなえるべく関係者が努力をしている。文化部でも、例えば吹奏楽部などは時に高名な指揮者を呼んで合同の練習会を開くことがある。新聞部も合同で新聞社に出向いてプロから編集の仕方や取材方法等について指導を受けることがある。

校長以下関係の教員が生徒の減、部員の減、顧問の不足を嘆く前に、部員が少人数であっても立派に活動できることを示してやらなければならない。生徒の希望ができるだけかなえる努力をするのが学校関係者の務めである。

これらの活動には生徒の移動が絡む。その際、顧問が自家用車で移動させるのが常だが、自家用車を公用車扱いするのには様々な問題がある。教員の服務や安全面で問題があるからである。校長協会も条件付で自家用車を公用車扱いするよう静岡県教育委員会に要望しているが、教育委員会は慎重である。

(8) 広報活動の充実

文化部の活動は社会一般の人達には意外と知られていない。それは、広報の方法に問題があるからである。前述のように、平成20年度の全国高等学校総合文化祭については、静岡新聞や朝日新聞で静岡県の高校生の活躍ぶりが紹介された。この記事を目にして読者は全国規模の文化祭があることを知り、静岡県の高校生が随分頑張っていることを知る。この記事がなければ、新聞は全国高等学校野球選手権や全国高等学校総合体育大会の記事一色となり、文化部の祭典も話題にもならないし、文化部の高校生の活躍も知られずに終わってしまう。

文化部活動を活性化するために活動内容を広く知ってもらうことは極めて重要である。そのためには部自身が積極的に外（校内の生徒や校外の地域の人達）に働きかけなければならない。更に、学校がそれを後押ししていく。そして、マスコミ等に登場させる。また、大きな大会は高文連の事務局が広報に努める。こうした努力の積み重ねによって文化部が自信を持ち、活動が活発になっていくのである。

III 結び

部活動というと頭に浮かぶのは運動部の活動である。しかし、高校生の約4割は文化部に所属している。だから、文化部の活動については多くの人達にもっと関心を持ってもらいたいのであるが、当の学校にあっても文化部が軽く扱われているのが現実である。というのも、文化部の中には週1回、1時間程度の軽い活動の部や、部員の足並みが揃わず集まても雑談するだけで終わってしまう部もあるからだ。

私が危惧するのは、少子化で高校生が減少する中でこのままでは文化部参加率が4割を切り、顧問の不在や部員の減少で部が消滅していくのではないか、そして学校祭等の主役を演じてきた文化部活動が沈滞化し、学校文化の灯が消え、学校そのものが消滅していくのではないか、更には地域文化の担い手であった人材がいなくなってしまい地域が元気を失い、地域の文化どころか日本の文化までもが大きな痛手を受けるのではないか、ということである。

参加率4割の今なら、まだ打つ手はある。その方策について私は本論で詳しく述べた。文化部に所属している生徒自身、指導する顧問、学校、地域、教育委員会、国及び文部科学省等、それぞれがそれぞれの立場で真剣に考えていく必要がある。中央教育審議会の答申を受けた文部科学省も、中学校学習指導要領を改訂して部活動を教育課程と関連付けようとした。静岡県のように積極的に文化部にてこ入れをしようとする自治体も現れ始めた。

私は高校生活に占める部活動の比重はまことに重いと思っている。彼らの人間形成に部活動が果たす役割は大きい。度々述べてきたように「生きる力」を育むのに最適だからである。かつて高校生であった大人達は自身の高校時代を忘れて、勉強をそっちのけにして部活動に熱中する自分の子供に苦言を呈することが多いが、子供の個性や特技を伸長させ、社会性を身に付けさせる部活動が高校生活の一つの大きな柱であり続けるよう、関係者の努力を期待する。特に危機的状況にある文化部へは一層の支援をお願いしたい。そのような期待と願いを述べてこの論文の結びとする。

最後に、この拙い研究をまとめるに当たって多くの方々の世話をした。資料として使った「学校要覧」の利用等で御尽力頂いた静岡県立中央図書館、資料提供等でお世話をなった静岡県高等学校長協会や静岡県高等学校文化連盟、聞き取り調査に御協力を頂いた関係高等学校長の皆様、データ作成に献身的に協力してくれた同僚の高橋等准教授、ゼミ生の小柳津貴広君、かつてのゼミ生の外山真与さん（県立浜松江之島高校講師）、平林正輝君（県立沼津東高校講師）等にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

IV 参考資料

- (1) 学校要覧 平成7年～18年 静岡県公立高等学校
- (2) 学校基本調査 平成18年版 静岡県総務部生活統計室
- (3) 静岡県高文連年報第7号～18号 静岡県高等学校文化連盟
- (4) 高校の体育第44号～55号 静岡県高等学校体育連盟
- (5) 静岡県教育関係職員必携 平成19年度版 静岡県教育委員会
- (6) 教育新聞 平成20年1月28日、4月24日、5月1日、7月3日

- (7) 平成20年度 教育行政の基本方針と教育予算 静岡県教育委員会
- (8) 今後の教員給与の在り方について（答申） 平成19年3月29日 中央教育審議会
- (9) 平成20年版 中学校学習指導要領 全文と改訂のピンポイント解説 大杉昭英編 明治図書
- (10) 学習指導要領一般篇（試案） 昭和22年3月、同26年3月 文部省
- (11) 学習指導要領 昭和35年3月、同45年3月、同53年3月、平成元年3月
同11年3月 文部省、文部科学省
- (12) 静岡県教育委員会ホームページ
- (13) 文部科学省ホームページ

高等学校における文化部活動の今後の在り方について

資料編

1 学校毎集計

下田南		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		320	281	275	260	283	254	240	247	260	276	274	276
(%)		46.4	43.7	44.4	48.2	48.5	46.4	46.7	51.8	53.9	57.3	62.1	68.5
文化		370	362	344	301	300	294	274	230	222	206	167	127
(%)		53.6	56.3	55.6	51.8	51.5	53.6	53.3	48.2	46.1	42.7	37.9	31.5
生徒数		690	643	619	581	583	548	514	477	482	482	441	403
													405
下田北		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		322	473	419	415	411	395	438	473	501	451	390	219
(%)		39.7	64.3	56.3	57.5	57.2	54.9	61.2	68.7	69.4	65.9	64	40
文化		489	283	325	307	308	325	278	236	221	233	219	390
(%)		60.3	35.7	43.7	42.5	42.8	45.1	38.8	33.3	30.6	34.1	36	60
生徒数		811	738	744	722	719	720	716	709	722	684	609	609
松山		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		222	194	204	200	231	219	244	238	249	237	230	229
(%)		31.2	42.5	38.6	39.4	42.9	40.3	46.7	50.2	53.0	66.6	63.9	64.9
文化		489	263	325	307	308	325	278	236	221	119	130	124
(%)		68.8	57.5	61.4	60.6	57.1	59.7	53.3	49.8	47.0	33.4	36.1	35.1
生徒数		711	457	528	507	539	544	522	474	470	356	360	353
		359	318	327	320	341	345	380	354	358			
伊東		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		422	406	408	348	332	307	334	367	332	321	323	327
(%)		51.9	53.6	56.7	51.8	53.0	50.5	55.1	60.9	63.1	57.2	58.5	58.3
文化		391	351	312	324	295	301	272	238	194	240	229	234
(%)		48.1	46.4	43.3	48.2	47.0	49.5	44.9	39.1	36.9	42.8	41.5	41.7
生徒数		813	757	720	672	627	608	606	603	526	561	552	561
									(2年)自由	602	604	586	
伊東商業		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		379	339	326	318	304	273	234	194	230	231	295	269
(%)		60.9	55.7	55.3	57.1	55.0	50.5	50.3	59.0	47.0	50.0	62.1	55.9
文化		243	270	264	239	249	268	231	135	259	231	180	212
(%)		39.1	44.3	44.7	42.9	45.0	49.5	49.7	41.0	53.0	50.0	37.9	44.1
生徒数		622	609	590	557	553	541	485	329	489	462	475	481
									541	499			
伊東城ヶ崎		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18(分校)
運動		249	248	253	195	175	188	178	172	155	120	93	47
(%)		48.1	50.6	55.7	48.1	43.0	45.4	44.8	47.1	47.8	58.3	52.8	42.3
文化		269	242	201	210	232	226	219	193	169	86	83	64
(%)		51.9	49.4	44.3	51.9	57.0	54.6	55.2	52.9	41.7	47.2	57.7	
生徒数		518	490	454	405	407	414	397	355	324	206	176	111
											281	230	176
勝浦		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		282	357	300	209	202	182	187	151	131	143	138	133
(%)		46.4	49.4	48.9	61.7	62.9	54.0	54.0	48.0	42.3	46.1	42.6	39.1
文化		326	366	314	130	118	155	159	177	179	167	186	207
(%)		53.6	50.6	51.1	38.3	36.8	46.0	48.0	54.0	57.7	53.9	57.4	60.9
生徒数		608(複数)	723(複数)	614(複数)	339	321	337	345	328	310	310	324	340
		458	431	391			339						
土肥		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		161	141	170	179	182	142	111	110	73	79	78	73
(%)		46.1	43.7	60.3	65.5	69.2	55.7	48.9	53.1	39.7	48.2	49.4	49.3
文化		188	182	112	90	82	113	116	97	111	85	80	75
(%)		53.9	56.3	39.7	33.5	31.2	44.3	51.1	46.9	60.3	51.8	50.6	50.7
生徒数		349	323	282	269	263	255	227	207	184	164	158	148
大仁		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		285	277	256	233	228	230	218	189	156	178	188	194
(%)		41.6	42.2	42.7	39.6	38.6	39.5	39.9	37.4	33.7	42.4	40.3	41.2
文化		402	377	344	355	383	353	208	185	238	242	279	277
(%)		58.4	57.5	57.3	60.4	61.4	60.5	38.1	36.6	51.0	57.8	59.7	58.8
生徒数		688	656	600	588	591	583	428	374	392	420	467	471
								546	506	463	458		
藤井寺工業		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		381	352	366	353	393	360	334	362	385	377	334	328
(%)		69.3	63.9	64.9	61.5	67.6	61.7	57.5	61.5	64.8	69.2	64.5	66.3
文化		169	199	198	221	188	126	145	138	155	168	174	167
(%)		30.7	36.1	35.1	38.5	32.4	21.6	25.0	23.1	26.1	30.8	35.5	33.7
生徒数		550	551	564	574	581	486	479	498	540	545	518	495
								583	581	594	594	552	520
若山		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		624	605	575	559	573	561	577	580	571	566	553	563
(%)		60.9	62.9	60.7	59.9	61.1	62.6	67.8	68.5	67.2	65.9	64.7	66
文化		400	357	372	374	365	335	274	267	278	293	302	290
(%)		39.1	37.1	39.3	40.1	38.9	37.4	32.2	31.5	32.8	34.1	35.3	34
生徒数		1024	982	947	933	938	896	851	847	850	859	855	853
						941	898		849	854			

野崎耕一

道府	624	605	575	559	573	561	577	580	571	566	553	563
(%)	60.9	62.9	60.7	59.9	61.1	62.6	67.8	68.5	67.2	65.9	64.7	66
文化	400	357	372	374	365	335	274	267	279	293	302	290
(%)	39.1	37.1	39.3	40.1	38.9	37.4	32.2	31.5	32.8	34.1	35.3	34
生徒数	1024	962	947	933	938	896	851	847	850	859	855	853
伊豆中央 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	606	620	553	528	509	493	472	433	455	446	476	465
(%)	59.0	64.4	61.2	61.8	59.5	60.8	61.2	59.2	62.2	61.1	65.5	64.2
文化	421	343	351	327	343	318	289	299	276	284	251	259
(%)	41.0	35.6	38.8	38.2	40.1	39.2	38.8	40.8	37.8	38.9	34.5	35.8
生徒数	1027	963	904	855	856	811	771	732	731	730	727	724
田方農業 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	192	260	285	268	275	273	261	265	287	287	229	282
(%)	33.9	46.2	51.2	47.8	48.1	58.8	57.1	60.6	58.9	58.9	45.5	53.8
文化	275	303	272	280	297	193	186	172	200	99+101	150+114	135+107
(%)	48.5	53.8	48.8	52.2	51.9	41.4	42.9	39.4	41.1	41.1	53.5	36.2
生徒数	567	563	557	556	572	468	457	437	487	487	493	524
三島南 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	422	359	313	347	352	386	385	425	445	458	488	481
(%)	54.6	49.9	47.5	52.9	51.2	51.7	54.3	60.5	62.2	63.1	65.5	67.7
文化	351	381	345	309	335	361	324	278	270	268	246	229
(%)	45.4	50.1	52.5	47.1	48.8	48.3	45.7	39.5	37.8	36.9	34.5	32.3
生徒数	773	720	659	658	687	747	709	703	715	726	714	710
三島北 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	333	310	285	270	284	287	293	324	294	294	383	440
(%)	41.2	41.7	39.3	37.4	38.4	44.0	44.8	48.3	45.9	45.9	53.8	60.3
文化	475	433	441	451	461	365	361	347	348	348	329	290
(%)	58.8	58.3	60.7	62.6	63.6	56.0	55.2	51.7	54.1	54.1	48.2	39.7
生徒数	808	743	726	721	725	653	654	671	640	640	712	730
長泉 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	558	468	381	380	357	363	319	301	284	276	256	133
(%)	57.8	53.6	49.0	52.5	49.8	50.8	54.9	59.6	64.7	69.0	64	59.6
文化	410	405	397	344	360	355	262	204	155	123	141	90
(%)	42.4	46.4	51.0	47.5	50.2	49.4	45.1	40.4	35.3	31.0	36	40.4
生徒数	968	873	778	724	717	718	581	505	439	399	397	223
御殿場 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	421	344	274	284	264	267	288	291	264	277	264	247
(%)	56.6	48.1	38.9	39.9	37.1	37.4	40.7	41.6	37.6	40.4	45.8	42.7
文化	323	371	430	427	447	447	416	408	438	409	313	331
(%)	43.4	51.9	61.1	60.1	62.9	62.6	59.3	58.4	62.4	59.6	54.2	57.3
生徒数	744	715	704	711	711	714	702	699	702	688	577	578
御殿場南 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	531	512	519	538	518	510	489	460	426	404	392	385
(%)	60.7	56.8	58.1	61.9	59.3	58.8	56.9	58.4	58.0	55.4	55.1	56.8
文化	344	390	374	331	358	358	355	327	308	325	320	295
(%)	39.3	43.2	41.9	38.1	40.7	41.2	43.1	41.6	42.0	44.6	44.9	43.4
生徒数	875	902	893	869	874	868	824	787	734	729	712	680
かけもちあり					853	806	763	726	725	710	635	611
小山 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	470	431	404	412	439	437	427	437	450	437	398	397
(%)	57.2	56.3	55.9	57.3	61.5	60.3	60.1	60.9	64.7	60.9	57.1	61.7
文化	352	335	319	307	275	288	284	280	258	281	291	246
(%)	42.8	43.7	44.1	42.7	38.5	39.7	39.9	39.1	37.1	39.1	42.9	38.3
生徒数	822	766	723	719	714	725	711	717	695	718	679	643
裾野 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	327	272	302	332	278	301	248	219	190	208	194	197
(%)	45.2	37.4	43.6	48.0	39.8	43.1	57.7	53.7	48.2	44.5	36.6	36.8
文化	457	455	390	359	416	291	180	189	204	259	336	341
(%)	63.1	62.6	56.4	52.0	59.6	41.6	42.3	46.3	51.8	55.5	63.4	63.4
生徒数	724	727	692	691	698	699	684	615	552	487	530	538
551												
沼津東 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	715	687	638	600	619	640	658	651	601	601	583	601
(%)	69.6	71.2	69.8	69.8	72.0	74.3	76.2	76.0	70.3	70.2	68.4	70.4
文化	312	278	276	260	241	221	205	206	254	235	269	253
(%)	30.4	28.8	30.2	30.2	28.0	25.7	23.8	24.0	29.7	29.8	31.6	29.8
生徒数	1027	965	914	860	860	861	861	857	855	858	852	854
(不明2)												
沼津西 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
道府	354	348	359	352	343	312	287	254	283	325	369	388
(%)	38.6	38.3	41.0	40.8	40.8	39.2	37.7	36.1	40.0	56.5	58.5	60.4
文化	564	560	517	510	498	345	292	292	261	250	262	253
(%)	61.4	61.7	59.0	59.2	59.2	43.4	38.3	41.5	36.9	43.5	41.5	39.8
生徒数	918	908	876	862	841	795	762	703	708	575	631	639
(不明1)										708	730	729
沼津城北 平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	

高等学校における文化部活動の今後の在り方について

沿岸工業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	592	489	521	545	495	401	465	378	391	448	453	444
(%)	60.0	52.9	53.8	58.6	56.8	60.2	70.1	58.9	63.2	54.3	55.2	56.9
文化	347	436	447	385	377	265	198	264	228	377	368	336
(%)	40.0	47.1	46.2	41.4	43.2	39.8	28.9	41.1	36.8	45.7	44.8	43.1
生徒数	939	925	968	930	872	666	663	642	619	825	821	780
沿岸商業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	450	368	330	349	321	304	285	265	249	257	259	297
(%)	47.5	40.4	38.7	42.8	40.9	40.6	40.1	37.7	38.9	40.1	42.5	50.4
文化	497	544	522	467	464	444	425	438	425	384	350	292
(%)	52.5	59.6	61.3	57.2	59.1	59.4	59.9	62.3	63.1	59.9	57.5	49.6
生徒数	947	912	852	816	785	748	710	703	674	641	609	589
吉原	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	457	446	482	467	471	479	479	433	418	434	422	435
(%)	45.7	45.3	48.4	47.4	48.0	49.1	49.1	49.1	49.8	54.7	55.3	60.7
文化	543	539	513	518	510	496	498	448	421	359	341	282
(%)	54.3	54.7	51.6	52.6	52.0	50.9	50.9	50.9	50.2	45.3	44.7	39.3
生徒数	1000	985	995	985	981	975	975	881	839	783	763	717
吉原工業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	338	341	304	302	267	283	312	298	328	369	385	389
(%)	42.7	44.5	40.6	43.8	38.7	40.2	43.7	41.2	46.1	56.7	58.3	57.5
文化	453	426	301	280	388	292	210	310	317	282	275	287
(%)	57.3	55.5	40.2	40.6	55.9	41.5	29.4	42.9	44.5	43.3	41.7	42.5
生徒数	791	767	749	690	690	704	714	723	712	651	660	678
富士	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	595	558	565	552	541	512	512	513	482	448	471	484
(%)	49.3	48.4	50.1	49.8	49.0	46.6	47.1	48.7	45.6	46.2	48.4	50
文化	613	593	563	557	562	586	576	541	551	521	503	484
(%)	50.7	51.6	49.9	50.2	51.0	53.4	52.9	51.3	54.4	53.8	51.6	50
生徒数	1208	1149	1128	1109	1103	1098	1088	1054	1013	989	974	968
								未定3	未定2		971	
富士東	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	466	438	425	458	482	494	473	528	515	563	544	571
(%)	43.8	43.2	42.6	45.1	45.8	45.0	44.8	52.3	52.8	57.9	56.1	58.9
文化	599	577	573	557	569	602	492	447	435	410	425	398
(%)	56.2	56.8	57.4	54.9	54.1	54.8	46.6	44.3	44.6	42.1	43.9	42.9
生徒数	1065	1015	998	1015	1052	1098	1055	1010	975	973	969	989
				(休3)	(休1)	(休2)					974	
富士宮東	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	447	432	398	374	379	365	338	357	340	354	372	376
(%)	44.2	43.5	40.5	38.4	39.3	36.8	34.1	37.3	38.8	45.0	50	52.5
文化	584	560	584	599	586	626	652	598	598	433	372	340
(%)	55.8	56.5	59.5	61.6	60.7	63.2	65.9	62.7	61.2	55.0	50	47.5
生徒数	1011	992	982	973	965	991	980	956	878	787	744	716
富士宮北	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	642	592	540	513	490	452	432	443	483	470	465	502
(%)	55.6	51.9	49.3	47.5	45.5	45.3	43.0	44.5	50.8	52.0	53.6	60
文化	513	540	556	566	586	546	573	514	424	433	403	335
(%)	44.4	48.1	50.7	52.5	54.5	54.7	57.0	51.7	44.6	48.0	48.4	40
生徒数	1155	1122	1096	1078	1076	998	1005	995	951	903	888	837
富士宮西	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	642	542	537	506	487	453	460	452	507	532	537	498
(%)	50.8	43.9	45.9	43.6	43.1	41.1	42.3	43.0	50.3	55.0	58.2	56.4
文化	623	694	633	655	644	664	621	591	500	435	385	385
(%)	49.2	56.1	54.1	56.4	56.9	58.9	57.1	58.3	49.7	45.0	41.8	43.6
生徒数	1265	1236	1170	1161	1131	1127	1088	1050	1007	967	922	883
富士宮西	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	195	210	209	196	196	223	229	284	294	336	318	337
(%)	32.7	37.0	36.3	34.1	34.1	38.8	39.8	41.8	44.1	47.1	44.7	47.7
文化	173	358	366	377	379	352	349	368	372	377	394	369
(%)	29.0	63.0	63.7	65.6	66.0	61.2	60.7	58.2	55.9	52.9	55.3	52.3
生徒数	597	568	575	575	574	575	575	632	666	713	712	706
				(不明1)								
南原	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	436	389	348	329	351	351	386	321	339	358	343	318
(%)	56.7	52.0	47.3	46.6	49.6	50.5	47.4	52.9	59.5	68.5	69.1	
文化	333	359	387	377	357	354	359	358	302	242	158	141
(%)	43.3	48.0	52.7	53.4	50.4	50.2	49.5	52.6	47.1	40.5	31.5	30.9
生徒数	769	748	735	708	708	705	725	677	641	588	501	457
				(替1)							587	510
清水東	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	571	534	528	534	556	506	456	495	513	528	519	511
(%)	55.3	52.6	53.0	54.2	56.9	54.1	50.9	58.0	60.1	62.3	60.8	59.8
文化	461	482	468	452	422	429	439	359	320	334	392	344
(%)	44.7	47.4	47.0	45.8	43.1	45.9	49.0	42.0	39.7	37.3	40.2	
生徒数	1032	1016	996	983	978	935	886	854	854	848	853	855

野崎耕一

清水西	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	252	242	218	200	171	204	200	207	188	214	269	309
(%)	29.4	31.7	30.9	30.6	26.0	29.9	30.9	33.4	32.5	36.4	45.1	52.6
文化	606	521	488	453	488	478	447	413	390	374	328	278
(%)	70.6	68.3	69.1	69.4	74.0	70.1	69.1	66.6	67.5	63.6	54.9	47.4
生徒数	858	763	706	653	657	682	647	620	578	588	597	587
清水南	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	438	419	375	393	386	409	392	405	408	347	298	257
(%)	48.6	47.2	42.9	45.5	45.0	47.7	48.5	53.0	53.2	53.2	51.8	48.5
文化	464	468	499	471	472	449	414	359	359	305	277	273
(%)	51.4	52.8	57.1	54.5	55.0	52.3	51.2	47.0	46.8	46.8	48.2	51.5
生徒数	902	887	874	864	858	858	808	764	767	652	575	530
清水工業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	443	351	353	345	318	302	310	381	391	381	345	279
(%)	54.7	42.8	43.0	41.9	40.8	40.8	43.5	53.6	55.1	63.7	63.3	62.1
文化	367	469	467	479	482	436	319	270	211	217	200	170
(%)	45.3	57.2	57.0	58.1	59.2	58.9	44.8	38.0	29.7	38.3	38.7	37.9
生徒数	810	820	820	824	780	740	712	711	710	598	545	449
静岡	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	541	600	594	587	598	601	579	534	531	514	514	514
(%)	47.0	52.9	53.3	52.8	54.0	53.8	54.7	54.6	52.5	54.4	52.8	52.3
文化	610	534	521	525	510	510	497	481	484	446	459	469
(%)	53.0	47.1	46.7	47.2	46.0	46.2	45.3	45.4	47.5	45.6	47.2	47.7
生徒数	1151	1134	1115	1112	1108	1103	1088	1060	1018	977	973	983
静岡北	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	375	320	282	267	259	233	233	248	244	189	221	214
(%)	33.3	30.0	28.3	27.7	27.1	25.3	26.9	31.1	31.2	39.3	39.6	39.6
文化	751	745	715	697	697	689	632	550	517	416	341	326
(%)	66.7	70.0	71.7	72.3	72.9	74.7	73.1	68.9	67.4	68.8	60.7	60.4
生徒数	1126	1065	997	984	958	922	885	798	767	605	562	540
	(休1,182)	(休1,155)	(未定5)	(未定7)	(未定4)					688	647	608
静岡東	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	637	656	845	853	611	622	623	627	641	628	665	675
(%)	53.2	58.0	57.8	58.8	55.5	57.1	59.8	62.1	66.3	65.4	69.1	69.6
文化	560	515	470	461	490	468	423	381	326	332	298	295
(%)	46.8	44.0	42.2	41.4	44.5	42.9	40.4	37.8	33.7	34.6	30.9	30.4
生徒数	1197	1171	1115	1114	1101	1090	1048	1009	987	960	963	970
	(不明5)									968	973	
静岡西	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	537	577	552	572	508	521	533	532	530	537	533	531
(%)	50.3	55.3	53.7	56.2	48.2	52.0	55.5	60.2	62.9	71.3	73.1	77.5
文化	531	467	475	445	544	339	298	274	231	216	196	154
(%)	49.7	44.7	46.3	43.8	51.8	33.8	30.8	31.0	27.4	28.7	26.9	22.5
生徒数	1068	1044	1027	1017	1050	1002	980	883	843	753	729	685
	(不明1)									779	762	720
静岡南	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	547	492	441	383	335	301	268	258	234	237	207	200
(%)	54.6	52.6	48.9	48.5	45.8	47.1	41.0	44.1	43.3	49.8	48.1	48
文化	454	443	461	407	398	301	329	275	260	239	223	217
(%)	45.4	47.4	51.1	51.5	54.2	47.1	50.8	47.0	48.1	50.2	51.9	52
生徒数	1001	935	902	790	731	639	648	585	540	476	430	417
										524	473	465
静岡農業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	350	319	293	306	291	294	293	327	327	334	319	318
(%)	48.2	44.2	41.3	42.7	41.1	42.2	41.6	45.8	45.7	47.4	44.8	44.0
文化	376	403	416	411	417	402	412	387	388	286+104	286+107	297+108
(%)	51.8	55.8	58.7	57.3	57.9	57.8	58.4	54.2	54.3	52.6	55.2	56.0
生徒数	726	722	709	717	708	698	705	714	715	704	712	723
静岡工業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	411	371	355	336	328	431	443	451	468	416	387	391
(%)	63.8	63.8	63.1	58.7	57.8	70.1	69.5	71.7	72.4	69.5	68	69.1
文化	233	211	208	236	239	184	194	178	178	183	182	175
(%)	36.2	22.0	36.9	41.3	42.2	29.9	30.5	28.3	27.8	30.6	32	30.9
生徒数	644	582	563	572	507	615	637	629	646	59.9	569	566
(在)	998	958	936	903	886	893	832	883	852	790	709	637
静岡商業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	584	566	537	514	501	497	504	523	510	517	447	421
(%)	56.3	58.2	55.8	54.3	52.7	53.8	56.7	61.9	60.6	61.2	55.3	55.2
文化	453	442	425	433	449	427	385	321	331	328	361	342
(%)	43.7	43.8	44.2	45.7	47.3	46.2	43.3	38.0	39.4	38.8	44.7	44.8
生徒数	1037	1008	962	947	950	924	889	845	841	845	808	763
焼津中央	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	548	507	520	518	514	526	513	492	478	548	573	568
(%)	66.7	70.8	69.7	70.5	65.3	59.7	61.0	59.1	61.3	64.8	66.9	68.1
文化	273	209	226	216	273	355	328	340	302	300	283	290
(%)	33.3	29.2	30.3	29.5	34.7	40.3	39.0	40.9	38.7	35.4	33.1	33.9
生徒数	821	716	746	732	787	881	841	832	780	848	856	856
(在)	1026	974	956	937	976	910	926	886	850			

高等学校における文化部活動の今後の在り方について

焼津水産	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	409	405	376	358	336	382	387	359	380	403	405	386
(%)	58.9	60.1	55.5	54.6	52.6	60.1	62.6	58.8	64.7	67.3	68	67.5
文化	285	269	301	298	303	254	231	252	207	198	191	176
(%)	41.1	39.9	44.5	45.4	47.4	39.9	37.4	41.2	35.3	32.7	32	32.5
生徒数	694	674	677	656	639	636	618	611	587	599	588	542
(名)					651			588				
高萩東	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	576	581	582	543	549	523	565	511	543	546	555	536
(%)	70.2	58.3	55.7	54.9	55.8	53.5	58.1	54.8	61.1	70.1	68.9	
文化	245	415	393	388	374	417	341	336	227	233	230	243
(%)	29.8	41.7	37.6	39.2	38.0	42.7	35.0	36.1	25.5	29.9	29.3	31.1
生徒数	621	996	1045	989	983	977	973	932	889	779	785	779
								854				
葛塚西	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	387	346	278	248	215	312	380	460	444	453	469	472
(%)	43.6	41.3	34.8	32.1	29.2	42.2	53.8	63.8	62.0	63.4	65.8	66.9
文化	501	496	522	524	415	317	248	261	261	244	234	
(%)	58.4	58.7	65.3	67.9	70.8	56.1	44.9	34.4	36.5	28.6	34.2	33.1
生徒数	888	845	800	772	737	740	708	721	716	714	713	706
								722				
葛塚北	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	345	335	297	304	301	296	282	270	281	319	339	391
(%)	59.8	57.8	51.1	50.8	51.5	49.8	47.8	46.2	48.5	53.7	58.7	65.3
文化	232	247	284	284	301	311	315	298	275	239	208	
(%)	40.2	42.4	48.9	49.2	48.5	50.4	52.4	53.8	51.5	46.3	41.3	34.7
生徒数	577	582	581	598	585	597	593	585	579	584	578	599
								591	598	600	605	605
大井川	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	553	514	443	439	428	450	428	442	445	402	361	331
(%)	48.0	48.7	42.6	44.6	43.9	47.2	46.7	50.2	53.1	49.8	50.2	51.2
文化	649	587	598	545	545	503	488	438	393	406	358	316
(%)	54.0	53.3	57.4	55.4	56.1	52.8	53.3	49.8	46.9	50.2	49.8	48.8
生徒数	1202	1101	1041	984	971	953	918	880	838	808	719	647
								888	924	883	810	721
(名)												
鳥田	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	579+12	538	505	487	470	529	531	479	479	518	493	490
(%)	57.4	53.3	50.5	49.7	48.5	54.5	56.9	53.9	56.6	61.9	66.7	67.5
文化	438	474	495	492	489	442	402	409	368	318	245	236
(%)	42.6	47.0	49.5	50.3	51.5	45.5	43.1	46.1	43.4	38.1	33.3	32.5
生徒数	1029	1009	1000	979	969	971	933	888	847	834	739	726
								889		850	798	755
鳥田工業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	472	366	320	298	289	301	322	382	395	398	401	411
(%)	63.4	58.2	53.9	55.6	54.9	58.2	55.3	62.0	61.2	60.7	60.3	61
文化	273	263	274	238	237	235	268	234	250	256	264	263
(%)	38.6	41.8	48.1	44.4	45.1	43.8	44.7	38.0	38.8	39.3	39.7	39
生徒数	745	829	594	538	526	538	600	618	645	652	685	674
		852	780	685	662	697	705	700	710	704	707	711
島田商業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	367	358	350	323	320	314	322	329	342	328	320	295
(%)	49.1	49.0	49.7	45.7	45.1	43.7	48.2	48.7	48.6	47.8	49.6	48.7
文化	380	372	354	384	389	404	375	375	361	361	325	311
(%)	50.9	51.0	50.3	54.3	54.9	56.3	53.8	53.3	51.4	52.4	50.4	51.3
生徒数	747	730	704	707	709	718	697	704	703	689	645	606
						723	700	706				
金谷	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	292	304	254	263	225	207	248	228	215	210	200	191
(%)	60.2	59.3	53.9	57.7	48.8	40.4	47.8	57.0	61.8	59.7	58.3	
文化	193	209	217	193	236	305	273	249	182	130	135	148
(%)	39.8	40.7	46.1	42.3	51.2	59.6	52.4	52.2	43.0	38.2	40.3	43.7
生徒数	485	513	471	456	461	512	521	477	377	340	335	339
				602	595	598	585	580	503	440	418	397
川根	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	259	219	185	195	199	213	215	226	233	218	184	148
(%)	73.4	75.0	76.1	66.6	64.8	63.8	62.3	64.9	70.8	72.2	68.9	62.4
文化	94	73	58	98	108	121	130	122	97	84	83	89
(%)	26.6	25.0	23.9	33.4	35.2	38.2	37.7	35.1	29.4	27.8	31.1	37.6
生徒数	353	292	243	293	307	334	345	348	330	302	267	237
				330	281							
吉田	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	394	391	359	388	375	359	330	312	326	308	277	249
(%)	52.5	54.0	50.6	50.9	49.7	43.7	43.0	45.0	49.5	48.0	49.4	54.2
文化	357	333	351	373	380	462	438	382	333	334	284	210
(%)	47.5	48.0	49.4	49.1	50.3	56.3	57.0	55.0	50.5	52.0	50.8	45.8
生徒数	751	724	710	759	755	821	768	694	659	642	561	459
		839	820	790	799	808	776	737	706	675	600	508
樺原	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	558	547	499	497	514	529	484	527	541	521	581	519
(%)	55.5	54.5	51.2	51.2	53.4	55.9	58.5	63.3	63.5	63.2	67.6	68.3
文化	447	456	476	473	448	417	344	306	311	304	278	241
(%)	44.5	45.5	48.8	48.8	46.6	44.1	41.5	36.7	36.5	36.8	32.4	31.7
生徒数	1005	1003	975	970	962	946	828	833	852	825	859	760
				958	945	939	941	918	888	804		

野 崎 耕 一

稻良	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	447	407	392	350	342	391	433	445	427	414	411	387
(%)	50.9	47.5	48.2	42.0	41.0	44.3	49.1	50.8	51.7	51.0	52.8	52.9
文化	431	450	456	483	493	492	448	431	399	398	368	344
(%)	49.1	52.5	53.8	58.0	59.0	55.7	50.9	49.2	48.3	49.0	47.2	47.1
生徒数	878	857	848	833	835	883	881	876	826	812	779	731
										820	782	746
掛川東	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	316	288	356	431	492	498	468	432	427	483	492	491
(%)	29.4	29.3	39.1	47.0	48.8	47.3	45.1	43.1	44.0	51.8	55.6	58
文化	760	694	555	488	517	553	570	570	544	449	393	356
(%)	70.6	70.7	60.9	53.0	51.2	52.7	54.9	56.9	56.0	48.2	44.4	42
生徒数	1076	982	911	917	1009	1049	1038	1002	971	932	885	847
掛川西	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	715	849	638	583	600	644	641	628	588	639	653	631
(%)	55.0	52.9	52.9	49.0	49.3	55.9	59.8	60.2	58.0	65.7	70.4	68.7
文化	585	578	567	607	618	508	431	414	411	333	279	288
(%)	45.0	47.1	47.1	51.0	50.7	44.1	40.2	39.8	42.0	34.3	29.6	31.3
生徒数	1300	1227	1203	1190	1216	1152	1072	1040	979	972	942	919
						1214	1211	1175	1135	1094	1054	1016
掛川工業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	483	415	424	392	414	435	452	476	518	543	517	506
(%)	52.8	45.3	44.3	43.8	43.8	58.7	59.8	63.0	69.5	70.1	68.8	70.8
文化	431	501	533	503	532	308	304	279	227	232	234	209
(%)	47.2	54.7	55.7	58.2	58.2	41.3	40.2	37.0	30.5	29.9	31.2	29.2
生徒数	914	916	957	895	948	741	756	755	745	775	751	715
						952	945	948	956	959	912	856
小笠	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	347	347	340	317	336	334	364	400	414	392	405	382
(%)	48.1	41.9	36.2	34.1	35.9	43.6	46.7	48.4	49.3	49.6	51.1	53.6
文化	374	482	599	613	600	432	416	427	425	399	388	331
(%)	51.9	58.1	63.8	65.9	64.1	56.4	53.3	51.8	50.7	50.4	48.9	46.4
生徒数	721	829	939	930	936	766	780	827	839	791	793	713
						728	844	950	940	944	955	948
池折田	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	658	590	522	488	459	387	283	281	287	323	358	319
(%)	56.8	52.9	49.3	47.2	44.0	52.5	46.0	50.0	57.1	62.2	63.6	64.6
文化	498	525	536	545	583	350	332	261	216	196	204	175
(%)	43.2	47.1	50.7	52.8	56.0	47.5	54.0	50.0	42.9	37.8	36.4	35.4
生徒数	1154	1115	1058	1033	1042	737	615	522	503	519	560	494
						1046	982	889	784	723	672	617
掛須賀	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	401	380	357	325	325	289	272	251	234	213	295	332
(%)	50.4	49.6	49.8	47.7	48.3	45.7	48.2	49.8	48.6	51.7	58.8	59.7
文化	394	386	360	356	348	344	292	253	247	199	207	224
(%)	49.6	50.4	50.2	52.3	51.7	54.3	51.8	50.2	51.4	48.3	41.2	40.3
生徒数	795	766	717	681	673	633	564	504	481	412	502	556
						676	666	650	587	578	560	582
森	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	323	308	324	320	354	295	277	239	194	204	235	192
(%)	58.6	52.8	49.6	48.6	52.7	47.5	45.2	51.1	47.1	53.5	55.6	49.9
文化	228	275	329	339	318	326	338	229	218	177	188	193
(%)	41.4	47.2	50.4	51.4	47.3	52.5	54.8	48.9	52.9	46.5	44.4	50.1
生徒数	551	583	653	659	672	621	613	488	412	381	423	385
		688	651	662	689	682	676	688	631	567	520	487
周智	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	168	160	189	229	226	197	192	201	215	224	211	186
(%)	37.4	35.6	42.2	49.5	49.5	57.1	53.8	52.3	54.3	54.9	56.1	59.4
文化	278	289	259	234	231	148	166	183	181	184	165	134
(%)	62.6	64.4	57.8	50.5	50.5	42.9	46.4	47.7	45.7	45.1	43.9	40.6
生徒数	444	449	448	463	457	345	358	384	396	408	376	330
		492	461	452	437	441	404	382				
春野	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	120	122	121	138	133	126	129	116	116	102	112	91
(%)	51.1	57.5	51.1	67.3	70.7	60.9	66.2	61.1	63.0	58.0	60.5	53.8
文化	115	80	116	67	55	81	66	74	68	80	73	78
(%)	48.9	42.5	48.9	32.7	29.3	39.1	33.8	38.9	37.0	44.0	39.5	46.2
生徒数	235	212	237	205	188	207	195	190	184	182	185	169
		240	234	230	219	218	206	199				
袋井	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	691	621	569	548	535	503	510	539	556	588	580	560
(%)	59.1	54.0	50.6	49.0	48.4	48.0	50.1	55.4	58.9	64.0	64.7	65.4
文化	479	530	555	570	571	544	507	434	388	331	322	296
(%)	49.9	46.0	49.4	51.0	51.6	52.0	49.9	44.6	41.1	36.0	35.3	34.6
生徒数	1170	1151	1124	1118	1108	1047	1017	973	944	919	912	889
		1097	1095	1052	1014	973	932	889				

高等学校における文化部活動の今後の在り方について

滋井商業		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		401	374	368	349	327	330	344	338	352	383	369	398
(%)		39.8	38.0	38.5	36.5	34.3	34.8	37.8	39.1	42.1	48.0	52.6	56.6
文化		606	611	587	608	626	618	585	527	485	415	359	305
(%)		69.2	62.0	61.5	63.5	65.7	65.2	62.2	60.9	57.9	52.0	47.4	43.4
生徒数		1007	985	955	957	953	948	909	865	837	788	758	703
二俣		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		535	482	449	412	439	432	386	381	338	317	291	286
(%)		60.2	62.5	60.8	56.1	54.5	54.8	51.9	52.2	52.2	50.6	51.6	55.6
文化		354	289	290	323	367	357	358	331	310	309	273	228
(%)		39.8	37.5	39.2	43.9	45.5	45.2	48.1	47.8	47.8	49.4	48.4	44.4
生徒数		889	771	739	735	806	789	744	692	648	626	564	514
天竜林業		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		252	237	198	230	246	241	246	253	244	257	278	282
(%)		56.4	52.4	45.5	53.5	54.4	53.0	53.8	55.5	54.5	57.5	50.3	60.9
文化		195	215	235	200	208	214	213	203	204	180	163	181
(%)		43.6	47.6	54.5	46.5	45.6	47.0	46.4	44.5	45.5	42.5	49.7	39.1
生徒数		447	452	431	430	452	455	459	456	448	447	461	463
佐久間		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		208	199	200	185	163	165	167	166	157	174	142	150
(%)		78.2	74.0	70.2	72.8	72.9	75.3	73.6	77.8	74.4	81.4	77.6	79.4
文化		58	70	85	69	68	54	60	48	54	41	41	39
(%)		21.8	26.0	29.8	27.2	27.1	24.7	26.4	22.4	25.6	19.1	22.4	20.6
生徒数		288	269	285	254	251	219	227	214	211	215	183	189
鶴田南		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		631	594	589	576	566	586	537	571	578	592	620	584
(%)		50.3	47.6	47.7	49.0	46.2	48.1	46.2	50.9	53.0	54.6	56.9	56.5
文化		624	655	646	599	659	633	626	551	510	492	470	449
(%)		49.7	52.4	52.3	51.0	53.8	51.9	53.8	49.1	47.0	45.4	43.1	43.5
生徒数		1255	1249	1235	1175	1225	1219	1163	1122	1086	1084	1090	1033
鶴田北		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		248	257	260	261	327	368	446	455	463	410	430	447
(%)		21.5	22.9	25.9	24.0	29.8	33.9	41.3	43.8	48.0	44.2	48.6	53.5
文化		906	884	742	827	770	717	634	584	544	518	455	388
(%)		78.5	77.1	74.1	78.0	70.2	66.1	58.7	56.2	54.0	55.8	51.4	48.5
生徒数		1154	1121	1002	1088	1097	1085	1080	1039	1007	928	835	835
鶴田農業		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		320	285	285	281	294	319	335	338	331	322	320	330
(%)		45.9	43.4	43.4	41.7	41.8	44.8	50.8	53.2	54.7	52.8	53.2	55.1
文化		377	371	371	393	409	393	325	296	274	288	282	269
(%)		54.1	56.6	56.6	58.3	58.2	55.2	49.2	48.8	45.3	47.2	46.8	44.9
生徒数		697	656	656	674	703	712	660	632	605	610	602	599
鶴田西		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		431	422	443	443	477	456	444	419	451	477	494	495
(%)		40.0	39.8	42.6	44.7	46.7	45.8	45.0	43.9	46.6	51.3	55.4	57.3
文化		648	637	598	548	544	540	542	536	517	453	397	382
(%)		60.0	60.2	57.4	55.3	53.3	54.2	55.0	56.1	53.4	48.7	44.6	42.7
生徒数		1077	1059	1041	991	1021	998	986	955	968	930	891	847
浜松北		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		587	600	584	525	514	536	569	581	618	581	629	608
(%)		45.3	47.1	46.9	42.5	41.9	43.4	46.2	47.3	50.2	47.4	51.5	50.1
文化		710	674	662	711	713	698	683	648	610	646	593	606
(%)		54.7	52.9	53.1	57.5	58.1	56.6	53.8	52.7	49.8	52.6	48.5	49.9
生徒数		1297	1274	1246	1236	1227	1234	1232	1228	1227	1227	1225	1216
浜松西		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		699	705	704	622	553	569	588	538	409	331	318	320
(%)		53.8	55.6	56.5	50.2	44.7	46.2	48.0	50.4	47.2	50.2	52.4	53.3
文化		601	582	542	616	683	683	637	527	457	328	289	280
(%)		46.2	44.4	43.5	49.8	55.3	53.8	52.0	49.6	52.8	49.8	47.8	46.7
生徒数		1300	1267	1246	1238	1236	1232	1225	1063	866	659	607	600
浜松南		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		682	614	510	520	531	537	539	579	583	590	555	541
(%)		52.8	48.3	41.2	42.4	43.6	50.5	51.4	53.1	54.3	50.3	48.5	49.9
文化		609	658	728	705	688	527	510	512	490	583	589	544
(%)		47.2	51.7	58.8	57.6	58.4	49.5	48.8	48.9	45.7	49.7	51.5	50.1
生徒数		1291	1272	1238	1225	1219	1064	1049	1091	1073	1173	1144	1085
浜松東		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		579	504	451	429	433	437	474	495	560	606	570	535
(%)		46.8	43.0	39.1	39.4	38.3	38.6	41.9	46.0	52.3	58.3	54.8	53.4
文化		658	688	701	659	697	895	656	581	511	471	487	486
(%)		53.2	57.0	60.9	60.6	61.7	61.4	58.1	54.0	47.7	43.7	45.2	48.6
生徒数		1237	1172	1152	1088	1130	1132	1130	1076	1071	1077	1041	1002
浜松湖南		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動		773	772	687	694	645	548	545	622	638	647	608	575
(%)		62.3	62.4	54.2	56.3	52.6	52.1	50.7	58.0	56.5	56.7	54.8	55.2
文化		487	468	563	538	581	504	530	488	490	494	506	467
(%)		37.7	37.6	45.8	43.7	47.4	47.9	49.3	44.0	43.5	43.3	45.4	44.8
生徒数		1240	1238	1230	1232	1228	1052	1075	1110	1126	1141	1114	1042
							1224	1215	1218	1214	1176	1141	1097

野崎耕一

浜松江戸店	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	540	472	437	423	410	368	322	284	321	339	359	332
(%)	43.2	38.1	36.4	35.3	34.3	34.3	35.1	32.	32.7	30.1	36.9	42.5
文化	711	766	763	774	784	679	664	613	550	545	539	450
(%)	56.8	61.9	63.6	64.7	65.7	64.9	67.3	69.8	63.1	61.7	60	57.5
生徒数	1251	1238	1200	1197	1194	1047	986	877	871	884	898	782
浜松東	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	447	438	377	367	344	373	355	375	379	394	350	366
(%)	40.9	39.9	36.9	36.0	33.8	35.9	34.1	37.4	38.4	42.3	41.1	46.6
文化	648	659	648	652	675	667	687	628	608	537	501	419
(%)	59.1	60.1	63.1	64.0	66.2	64.1	65.9	62.6	61.6	57.7	58.9	53.4
生徒数	1093	1097	1023	1019	1019	1040	1042	1003	987	931	851	785
浜松南館	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18(大平台)
運動	245	232	227	210	211	208	230	231	227	214	197	178
(%)	54.7	51.7	49.8	45.5	47.4	47.7	51.6	52.9	52.9	45.8	43.6	40.4
文化	203	217	229	242	234	228	216	206	202	243	255	260
(%)	45.3	48.3	50.2	53.5	52.6	52.3	48.4	47.1	47.1	53.2	56.4	59.6
生徒数	448	449	456	452	445	436	446	437	429	457	452	438
浜松工業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	654	588	543	557	567	595	661	614	626	604	614	601
(%)	53.3	47.7	44.2	45.5	46.7	49.3	55.2	53.6	55.6	55.3	56.4	57.5
文化	573	644	685	686	648	606	533	525	495	488	474	445
(%)	48.7	52.2	55.8	54.5	53.3	50.2	44.5	45.8	44.0	44.7	43.6	42.5
生徒数	1227	1233	1228	1223	1215	1206	1198	1148	1125	1092	1088	1046
浜松北工場	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	397	435	401	349	403	498	453	454	449	474	494	515
(%)	38.2	42.4	39.4	34.6	37.8	37.7	41.7	41.7	41.4	43.8	47.1	51
文化	641	592	616	681	662	674	634	634	609	555	494	494
(%)	61.8	57.6	60.6	65.4	62.2	62.3	58.3	58.3	58.6	58.2	52.9	49
生徒数	1038	1027	1017	1010	1065	1082	1087	1088	1084	1083	1049	1009
浜松商業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	618	588	530	497	514	551	568	575	570	578	566	536
(%)	49.4	49.7	47.9	47.3	46.3	48.9	50.4	52.7	52.4	53.3	54.4	53.8
文化	632	595	576	554	598	575	557	516	518	507	475	461
(%)	50.6	50.3	52.1	52.7	53.7	51.1	49.6	47.3	47.6	46.7	45.6	46.2
生徒数	1248	1183	1106	1051	1110	1126	1123	1091	1088	1086	1041	997
浜名	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	488	424	472	483	509	480	500	518	538	549	544	506
(%)	40.9	38.0	39.2	40.2	43.1	42.1	44.1	47.4	49.3	50.4	51.7	50.1
文化	704	753	732	690	673	661	633	575	553	540	508	504
(%)	59.1	64.0	60.8	59.8	56.9	57.9	55.9	52.6	50.7	49.6	48.3	49.9
生徒数	1192	1177	1204	1153	1182	1141	1133	1093	1091	1089	1052	1010
浜北西	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	538	563	523	502	459	504	497	492	440	430	458	461
(%)	44.8	49.3	45.0	43.9	42.4	47.1	48.6	49.1	45.5	45.4	50.7	52.9
文化	663	590	640	641	637	585	525	510	526	517	446	410
(%)	55.2	50.7	55.0	56.1	57.6	52.9	51.4	50.9	54.5	54.6	49.3	47.1
生徒数	1201	1143	1163	1143	1108	1069	1022	1002	986	947	904	871
新居	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	458	449	419	348	359	318	368	374	392	367	342	335
(%)	48.7	50.3	46.8	42.9	44.0	41.3	46.9	49.0	53.6	52.7	51.8	53.8
文化	482	444	477	464	457	452	415	389	340	329	319	290
(%)	51.3	49.7	53.2	57.1	56.0	58.7	53.1	51.0	48.4	47.3	48.2	46.4
生徒数	940	893	898	812	816	770	781	783	732	696	661	625
湖西	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	517	511	528	493	488	430	449	417	439	429	417	373
(%)	52.0	52.8	55.7	53.1	52.1	55.1	60.0	59.1	63.6	62.4	66	63
文化	477	457	420	436	447	350	299	269	251	259	215	219
(%)	48.0	47.2	44.3	46.9	47.9	44.9	40.0	40.9	38.4	47.3	34	37
生徒数	994	968	948	929	933	760	748	706	690	688	632	592
引佐	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	279	264	253	254	289	301	290	261	286	288	273	270
(%)	39.4	37.4	37.8	37.1	41.2	43.3	44.1	38.4	42.9	45.9	46	45.6
文化	429	442	438	430	413	394	368	419	380	340	320	322
(%)	60.6	62.6	62.4	62.9	58.8	58.7	55.9	61.8	57.1	54.1	54	54.4
生徒数	708	706	699	684	702	695	658	680	668	628	593	592
気賀	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	387	403	410	366	326	289	296	314	259	210	168	209
(%)	44.1	46.5	47.3	43.1	39.7	35.9	38.0	43.6	41.9	37.8	37.9	41.6
文化	491	483	457	484	496	515	483	407	359	345	325	293
(%)	55.9	53.5	52.7	56.8	60.3	64.1	62.0	58.4	58.1	62.2	62.1	58.4
生徒数	878	866	867	850	822	804	778	721	618	555	523	502

高等学校における文化部活動の今後の在り方について

三ヶ日	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	281	243	248	191	168	176	177	205	202	213	195	171
(%)	54.0	53.3	59.9	55.2	58.5	59.5	58.4	59.1	57.7	63.0	64.7	65.3
文化	239	213	166	155	119	120	126	142	148	125	107	91
(%)	46.0	46.7	40.1	44.8	41.5	40.5	41.6	40.9	42.3	37.0	35.3	34.7
生徒数	520	456	414	346	287	296	303	347	350	338	303	262
					298		349					
静岡中央	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	102	93	84	88	93	84	87	75	88	88	85	77
(%)	44.9	49.5	53.2	53.3	49.5	45.9	50.3	38.3	45.1	52.4	48.3	41.2
文化	115	95	74	77	95	99	86	121	107	80	91	110
(%)	55.1	50.5	46.8	46.7	50.5	54.1	49.7	61.7	54.9	47.6	51.7	58.8
生徒数	217	168	158	165	188	183	173	196	195	168	176	187
	576	681	713	704	695	691	682	674	725	704	712	702
浜松城南	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	117	203	222	162	158	134	165	121	140	121	139	大平台へ
(%)	50.0	60.2	62.4	49.1	46.6	83.8	69.7	79.6	85.9	84.0	78	
文化	117	134	134	168	181	26	19	31	23	23	39	
(%)	50.0	39.8	37.6	50.9	53.4	16.3	10.3	20.4	14.1	16.0	22	
生徒数	234	337	356	330	339	160	184	152	163	144	178	
					345	350	355	353	316	325		
市立沼津	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	551	501	454	396	363	393	397	353	301	310	271	275
(%)	54.8	51.5	49.3	45.6	42.6	46.1	49.8	58.0	56.1	59.7	52.4	53
文化	454	471	487	473	490	459	400	263	236	209	246	244
(%)	45.2	48.5	50.7	54.4	57.4	53.9	50.2	42.0	43.9	40.3	47.6	47
生徒数	1005	972	921	869	853	852	797	828	537	519	517	519
						752	672	636	602	597		
市立吉田西高	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	416	398	389	312	326	323	311	347	362	323	312	375
(%)	42.1	40.8	40.6	34.1	35.4	34.5	33.2	38.8	42.3	45.6	44.5	58.4
文化	571	578	569	604	595	613	626	548	493	386	389	290
(%)	57.9	59.2	59.4	65.9	64.6	65.5	66.8	61.2	57.7	54.4	55.5	43.6
生徒数	987	976	958	916	921	936	937	895	855	709	701	665
								780	739	698		
清水商業	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	603	561	522	528	560	539	540	491	466	453	484	465
(%)	59.3	58.7	58.5	63.0	67.1	65.3	67.2	65.0	64.9	63.7	64.4	64
文化	414	395	370	310	274	287	284	264	252	258	257	261
(%)	40.7	41.3	41.5	37.0	32.9	34.7	32.8	35.0	35.1	36.3	35.6	36
生徒数	1017	956	892	838	834	826	804	755	718	721	721	726
									780	739	698	
静岡市立	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	588	678	678	591	604	542	584	588	585	603	622	648
(%)	50.2	59.8	60.4	53.4	54.9	49.5	53.5	55.9	58.1	62.5	64.1	66.1
文化	581	455	445	515	496	552	507	464	422	364	349	332
(%)	49.8	40.2	39.6	46.6	45.1	50.5	48.5	44.1	41.9	37.5	35.9	33.9
生徒数	1171	1133	1123	1106	1100	1094	1091	1052	1007	970	971	980
静岡市立西高	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	457	428	370	352	347	327	323	273	301	309	293	274
(%)	48.0	46.0	42.7	36.8	36.5	34.3	34.2	32.0	37.0	41.0	40.5	38.6
文化	496	503	497	604	604	627	622	579	512	444	430	435
(%)	52.0	54.0	57.3	63.2	63.5	65.7	65.8	68.0	63.0	59.0	59.5	61.4
生徒数	953	931	857	956	951	954	945	852	813	753	723	709
			988	964	969		874	828	786	748		717
浜松市立	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	501	508	494	515	482	434	438	446	454	439	488	546
(%)	39.8	40.4	39.8	41.6	39.4	35.7	35.9	36.8	37.6	36.3	40.1	44.8
文化	758	750	748	723	742	781	780	767	754	769	729	672
(%)	60.2	59.6	60.2	58.4	60.6	64.3	64.1	63.2	62.4	63.7	59.9	55.2
生徒数	1259	1258	1242	1238	1224	1215	1216	1213	1208	1208	1217	1218
					1220				1209	1224		1224

2 全体集計

全合計	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
運動	45782	44104	42091	40553	40145	39706	39798	39671	39624	39822	39650	38659
(%)	50.0	49.3	48.3	47.7	47.2	48.3	50.1	51.8	53.3	55.2	56.4	57.2
文化	45766	45435	45008	44525	44868	42430	39846	36887	34731	32330	30691	28936
(%)	50.0	50.7	51.7	52.3	52.8	49.9	48.2	46.7	44.8	43.6	42.8	
合計	91548	89539	87099	85078	85013	82136	79444	76558	74355	72152	70341	67595

3 在籍者合計及び参加率

全校合計	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
生徒数	92474	90703	87550	86628	86670	86061	84520	81666	79145	76742	74307	71072
(%)	99.0	98.7	99.5	98.2	98.1	95.4	94.0	93.7	93.9	94.0	94.7	95.1